

関西学院同窓会大阪支部四十年の歩み

関西学院同窓会大阪支部 創立四十周年を迎えて



同窓会 大阪支部長
畠 房次

戦後、世相混乱激動のさ中に、関西学院同窓会大阪支部が創立せられ、今年で四十周年を迎えることとなりました。

大半は既に物故せられましたが、当時の設立に関係せられました同窓諸氏のご苦労に対して、深甚なる敬意を表するものであります。

以後四十年の同窓会活動の歩みの中に、数々の業績を残され、当大阪支部がその活動の核となって、今日を迎えることはこの上もなく、よろこばしく、支部存在の意義大きいものを感じます。

現在、大阪支部役員の皆様、同窓諸兄が母校愛と燃える共通意識、同窓会活動の使命感に徹して、今茲に四十周年創立記念誌を発行することとなりました事を衷心嬉しく存じます。

今後この年を記念し、大阪支部が母校同窓会活動の中心となって、益々活躍し、発展して行く事を願うものであります。

(昭和10年高商卒)

目次

巻頭言

関西学院同窓会大阪支部
創立四十周年を迎えて……………畠 房次……………1

関西学院同窓会大阪支部
四十年の歩み——母校通信から抜粋……………2

関西学院同窓会大阪支部
歴代支部長一覧……………20

大阪支部組織表……………21

目で見える大阪支部40年……………22

同窓会大阪支部の生いたち……………「言沼 安人」……………26

随想 大阪支部創立四十年……………あのころ、そのころ……………19編……………28



新阪急ホテルゲストカード
ホテルは、おトクなカードで利用する。

メンバーならではの特典がいっぱい!

- 基本室料の10%割引
- ご朝食プレゼント
- ご宿泊の優先予約
- ご出発日の午後2時までチェックアウト延長サービス
- お部屋へ朝刊をお届け
- ご宿泊にともなう駐車料金を無料
- レストラン・バーのご優待
- ご婚礼利用のご優待

入会金、年会費、盗難保険料は不要でございます。

Hotel new Hankyu



0000-0000-0000-00

ハンキウ 200 有効期限 昭和 65年

■ お問合せ・ご入会は

大阪・大阪アネックス・京都・高知

新阪急ホテル

大阪 ☎ (06) 372-5101
京都 ☎ (075) 343-5300
高知 ☎ (8888) 73-1111
東京 ☎ (03) 501-2445



大阪 新阪急ホテル



新阪急ホテル アネックス



京都 新阪急ホテル



高知 新阪急ホテル

関西学院同窓会 大阪支部

四十年の歩み

＝ 母校通信から抜粋 ＝

はじめに

戦前創業の創立何十周年という会社でも、創立当時の会社の状態ははつきりしないものである。ちゃんとした株式会社では毎期の株主総会に、株主に配る営業報告書が残っていると、会社の大体の様子はわかる。

終戦直後に創立された同窓会大阪支部の議事録的な記録は、関係者が保存されていたと思われるが、当時は戦後の混乱状態の時でもあり、そのうえ支部長や大阪支部を支えていた諸先輩も、大多数が故人となっているので、今となっては確かめようがない。

止むを得ず、同窓会本部が年二回春秋に発行している「母校通信」に掲載されている大阪支部関係の記事を抜粋した。

ところが「母校通信」には紙幅の関係や支部から原稿を送ってなかったためか、大阪支部関係の記事は全部掲載されていない。大阪支部関係の記事も「予定原稿」であったり、チョン、マルの句読点のない長い文章で、切れ目の無いものもあり、また過去形にするところを現在形にしたりしたものもあった。

現在の文章からみると、旧態依然の慣用語が多いし、使われていない漢字が使われていたりしている。すべて原文のままにし、明らかに誤植とわかつている固有名詞だけ訂正した。

最近の大阪支部は年一回総会を開いているが母校通信によると、昭和三十年前後には大阪支部は毎月例会を開いていたし、つい最近までは夏には新入会員歓迎のビールパーティーを開いていた。母校通信を通して、大阪支部関係の記事を読んだだけでも、戦後我が国の文章の変遷がよくわかる。

〔母校通信から抜粋〕原文のまま〕

昭和23年6月発行母校通信第一号

「支部通信」欄に、大阪支部―支部長森田蔵一氏（大正六年高商）飯事務所を大阪市西淀川区姫島一五〇元（天の誤り）野産業株式会社（電話淀川一二五〇）に設けることになった。近日総会を開かる予定。

昭和23年11月25日

母校通信特別号（二号）

大阪支部の連絡場所、同窓会大阪支部ではかねてから支部員の連絡場所を持つことを熱望していたが、今回大阪市梅田新道の茶房「たてやま」（昭和10年高商卒福田穂雄君経営）の好意により、同店を連絡所とすることに決定した。クラス会、その他広く会員諸君の御利用を希望するなお同店店頭には弦月会の看板を掲げている。同特別号（二号）裏面に、京阪神三支部合同同窓会の記事が掲載されている。（要旨）京阪神三支部結成を機会に、今月同窓会を去る十一月六日（土）大阪堺筋清友俱樂部に於て開かる。朝来の降雨で、出足を危まれていたが午後からはカラリと同窓会晴、会するもの無慮三百、さしにも広い会堂も満場立錫の余地なし。島利雄君（昭和五高商）の司会で午後二時半、中村賢二郎君（明三四、中）の力強い開会の辞で開会、京都支部長代理市川順吉君（昭和一〇高商）大阪支部長森田蔵一君（大正六高商）神戸支部長代理宮地茂喜君（大正一高商）の挨拶と続いて神崎院長（明治三四、中）の学院の現状及将来の構想の講話あり、以下略

昭和24年母校通信第三号（十月）

支部通信欄に（大阪支部）支部の結成並に其運営に私事を放棄して専ら御世話下さいました森田支部長が御事業の都合上突然営業所を大阪より神戸に移された為支部長を辞任せられ約半年の間欠員のままでありましたが、六月二十五日アラスカに開かれた常任委員会に於て江商の取締役朝長正男氏を満場一致で新支部長に推薦その統率の下今秋十月から十一月頃を期して京阪

八月三日午後四時堂ビル清交社に八月例会開催、会するもの十四名

追って当日協議の結果、当支部に二十名の常任幹事を選ぶこととし左記諸氏が選ばれた。

大阪支部常任幹事

森川友治（庶務） 尾上蓉三（庶務）
高橋調三（会計） 高橋貞一（会計）
以下一行判読出来ず
岡本悦蔵 池田良雄
菅沼安人 吉城貫一郎
是枝猶雄 和氣六郎
竹中一雄 福田穂雄
今村久司 栗生鹿之助
朝長正男 福山重一
岡本美雄 松本敏夫
杉本 治 粕谷二郎
浜口みづら 前田妙子
関西学院運動部大阪O・B会
同窓会大阪支部の一細胞である運動部大阪O・B会の集りを七月十八日午後五時大阪中央公会堂で開催、集るもの五十二名松本敏夫氏の開会の挨拶につき版上信一氏議長となり本会を関西学院運動部大阪O・B会と称すること、例会を毎年五月、十月の春秋二期に開催することを決議、続いて天野利三郎氏同窓会本部を代表して激励の辞をのべ各部を代表して自己紹介の後、ビールの泡に陶酔放談、近頃になく和やかな集りであった、特に今日は、普通の会合に見られぬ、運動部らしい会合であった、
（尚早急の事で連絡が十分でなかったことを御詫する）

昭和26年春、母校通信第六号

大阪支部例会
毎月三日（休祭日の時は翌日）午後四時―同六時
場所 大阪弦月クラブ
梅田曾根崎中一丁目シロスクラブ三階、
曾根崎警察署一ツ南の筋東入三軒目北側（電話堀川一九五九）

神合同第二回の同窓会を神戸に於て催す予定と致して居ります。其節は萬障繰合せて全会員諸賢の御出席を御待ち致します。大阪に在住される諸賢並に近接市区村に在住の方々も今後の会合には奮って是非御参加下され支部に対する御意見等御洩らし下されば結構です。又未通知者の方々は何卒左記飯事務所まで是非御住所勤務先等御連絡下されば幸甚です。ヨチヨチ歩きの大阪支部の発展の為多忙な日々の活動の余暇に於ける新鮮にして意義深い希望意見等遠慮なく御聴かせ下さい。

最後に、母校創立六十周年記念号母校通信発行をお願いしたいと思います。

大阪俱樂部飯事務所

大阪市西淀川区姫島町一五〇

天野産業株式会社内

（電話淀川（47）二二五五―二二五八）

（二四・八：二三森川記）

昭和25年発行母校通信第四号

「支部通信」（大阪支部）

終戦後地元の大阪に支部開設の要望が本部及び地元よりあつて有志の方々によって委員会を作り度々集つた上第一回支部総会を昭和二十二年十二月二十五日午後二時より大阪アラスカに於て開催した。

集う者百拾数名久方振りに舊交を温めお互に愉快な時を過した。神崎先生もご出席下さつてベーツ先生の近況学院の現状等に対し例の長講一席を頂いた。其節先生は同窓の集りとしてこんな多勢の集りは今迄になかったと云はれて大変喜ばれた。

今度御停年で御退職になったので院長としてはもう御臨席を頂けないが同窓の一員として支部の集りには欠かさず御出席下さつて豊富な思ひ出話をお聞かせ下さることを思う。大阪には同窓生の在住在籍者が多数であるから今後の集會多数の出席を願ふと思う。暫く集会を開かなかつたが来る五月中旬本部及京都、神戸両部共催で大阪にて新喜院長の送迎会を開催致しま

多数御誘合せ乞御来会

昭和26年秋母校通信第七号

各支部所在地

大阪支部 大阪市西淀川区姫島町一五〇、大野産業株式会社内（電、淀川一二五五）（支部長早川富之助）
大阪支部総会
御通知

日時 十月十二日（月）午後五時半

場所 大阪中央公会堂地下食堂

講演 河上丈太郎先生（予定）

会費 金参百円

改めて御通知は致しませぬ御誘合せ多数御来会下さい、尚準備の都合上御来会の方は左記支部宛御通知を乞ふ。

大阪市西淀川区姫島町、天野産業株式会社内
関西学院同窓会大阪支部

昭和27年春母校通信第八号

支部通信

大阪支部総会

昭和二十六年十月十二日（金）、大阪中央公会堂地下食堂に於て昭和二十六年大阪支部総会を開く、河上丈太郎先生を迎えて近頃ない盛会であつた、会するもの六十二名、追つて当日は早川富之助支部長辞任に伴ひ新支部長として吉城貫一郎氏（昭十高）を万場一致で推挙、次いで左の役員を選出した。

副支部長 菅沼安人、杉本 浩、高橋調三

常任幹事 天野利三郎、栗生鹿之助、早川富之助、林文雄、井上伝太郎、岡本万三、阪口善之助、竹中一雄、朝長正男

会計幹事 桑島正忠、高橋貞一

幹事 福山重一、梶田国次、森川友次、西川汀、岡本美雄、尾上蓉三、坂田一夫、沢田修太郎、和氣六郎、山下貞治

大阪支部並に大阪弦月クラブ移転

大阪北区曾根崎、シロスクラブ内にあつた大阪弦月クラブは同館拡張工事のため旧冬十一月

すから其際は萬障繰合せ御出席下さい。

次に大阪支部の名簿を作り度いと思ひますから大阪附近在住及び在籍の方々は左記事務所迄葉書にて現住所、御勤先、御卒業の部、年度等御記入の上御送り下さい。

飯事務所

大阪市西淀川区姫島一五〇

天野産業株式会社内

（二五・三・二九、T・M生）

昭和25年秋発行母校通信第五号

支部だより

大阪支部総会

五月二十日関西学院同窓会第十回定時総会を利用して竹中一雄支部役員司会の下に大阪支部総会が開かる、森田蔵一前支部長辞任挨拶につづいて早川富之助氏（大十一商）新支部長に選任せられた。尚支部役員は新支部長に於て選定一任と議決せらる。

大阪支部強化有志懇談会

早川富之助を新部長に迎へた大阪支部では六月二十三日午後二時から堂ビル清交社別室に於いて大阪支部強化有志懇談会を開催した種々協議の結果

1、大阪支部を地域別、職業別、団体別に三分し各地域を更に各細胞に分割し各細胞に老若各部を網羅した幹事を配置する。

2、各細胞は夫々自己の細胞の糾合強化に努めてその連絡を密にする。

3、毎月一回必ず例会を開く、（当分の間は毎月三日とする同日日曜の時は四日とする）

に決定した。この分割細胞は相互に入り組み厳格なる区別は困難ではあるが、要は大阪支部をして早川支部長統帥の下に……以下判読出来ず。

尚当日決定した幹事の受持地区割に氏名は次の通りである。

支部長 早川富之助

総務 小西次郎

庶務 森川友次

を以て閉鎖、新に北区堂山町ホテル、ナシヨナルに移動した、同ホテルは同窓宮川富雄氏（昭六商）のマネージする高級ホテルであつて阪急梅田、O・S劇場の南の筋東へ約三丁、稍々東方にかたよる憾はあるが、客室、食事何れも頗る簡美、会員には特別割引をなすと云ふ、クラス会其他の利用に好適、尚西淀川区姫島町天野産業株式会社内にあつた大阪支部も同時に同ホテルに移転した。

大阪支部例会
大阪弦月クラブ内に大阪支部例会を開いてから早くも満一ヶ年余を経過した。この間一回の欠会もなく月次盛況の度を加えつつあることは前支部長早川富之助氏並に大阪弦月クラブ幹事長村沢章平氏の努力に俟つこと多大であるが会友諸兄の当会認識の漸次増しつゝあることを窺ふに足る。今詳細を述ぶるの煩を避けてその要点を例記する。

十二月例会 出席二十八名 来賓鈴木信五郎教授
一月例会 出席三十名 来賓藤本文学部教授
二月例会 出席三十八名 来賓今田院長、神崎前院長、小宮経済学部部長、岸波常蔵先生
三月例会 出席四十二名 来賓アウターブリッツ博士、青木商学部長

昭和27年秋母校通信第九号

大阪支部総会並に役員改選

七月三日（木）午後六時より大阪中央公会堂地下食堂に於て大阪支部昭和二十七年年度総会を開く。会するもの六十六名、来賓に今田院長、神崎前院長、大石学長並に矢内中学部長を迎え、菅沼副支部長司会のもと吉城支部長挨拶、次いで当日の呼び物たる余興宝くじ抽籤をなす。爆笑苦笑微笑、誠に和氣藹々たるものであつた。尚支部長吉城貫一郎氏任期満了に付辞任、後任支部長は詮考委員によつて粟生鹿之助氏（大九商）を万場一致推薦に決定した。当副支部長以下常任幹事並に幹事は支部長指名と決定し午後九時散会。

杉郎章二 岡本万三 杉田 巖 国頭義正
安川 実 板野政治 森川友治 斎藤慶一
和田 豊 北川 浩 杉本 治 林 文雄
十河 巖 阪口善之助 島田利次 藤原 恵
藏本順吉 山沢保雄 中島幸二 友井太郎
安倍五三郎 高橋調三 竹中一雄 木下修三
村沢章平 佐藤巧二 天野利三郎 松崎滋雄
瀬戸義雄 吉城貫一郎 佐藤菅人 森田嘉一
水谷勢二

昭和二十九年七月三日（土）午後三時半より於山一証券心齋橋営業所三階別室に於て開催
話題 一、大阪支部名簿作成の件
一、大阪支部会館の件
一、その他

当日の参会者は近來にない少数の左記二十四名であつた水谷支部長が出張のため欠席され、天野先輩を囲んで大阪支部名簿作成に協力方を依頼し支部長の手許で着々会社別に調査し名簿の完璧を期して居り九月末を以て調査を完了し印刷に廻す手順になつてゐる。続いて支部会館建設の件は未だ具体化してゐる訳ではないが皆の協力により実現を早くしたいことを申合せた。出席者左の通り

中島英也 沢田修太郎 松下庸男 杉本 治
天野利三郎 阪口善之助 林 文雄 桑島正
忠 武田栄一 中野篤信 永吉 元 藏本順
吉 長谷川満 玉木 淳 藤野正巳 西川汀
武井 良治 仲井利孝 森田嘉一 畠山銀之
丞 板野政治 立川武衛 安倍五三郎 村沢章平
以上二十四名

昭和30年春母校通信第14号

大阪支部総会

昭和二十九年十一月十一日午後五時より阪急八階ホールに於て、二十九年年度支部総会を開催、来賓に母校よりアウターブリッジ院長、今田理事長、加藤短大長を、本部より神崎前院長、小西事務局長を、又他地区支部より石本神戸支部長、鈴木熊本支部員を迎へ会する者一四四名に

次いで八月四日午後六時ホテルナシヨナルに於ける八月例会に於て、粟生支部長より副支部長以下を左の如く発表された。

副支部長 林 文雄 杉本 治 吉本五郎右衛門
常任幹事 吉城貫一郎 天野利三郎 早川富之助 渡辺文吉 竹中一雄 木下修三 梅園秀秋 水谷勢二 寺村義太郎 村沢章平 阪口善之助 沢田修太郎 渡辺一夫
会計 森川友次 田中春道 江原武雄 菅沼安人 土橋四郎 畠 房次 森田嘉一 松崎滋雄 西川 渉
幹事

法文 朝山 峻 国頭義正
商経 結城勝太郎 桜井清治郎 林英太郎
船木恒雄 坂田一夫 桑島正忠
文学 笹木健二 斎藤慶一 伊原正二 須藤喜八郎
神学 宇都宮信哉
高商 江上宗和 大桑孝治 梶田国次 村上元吾 佐々木隆一 幾代四郎太郎 春日 保 高田正夫 原 清

昭和28年春母校通信第10号

大阪支部弦月会例会

昭和二十七年十一月十三日、ホテルナシヨナルに於て十一月例会を開く、当日の出席者十三名、非常にさみしくはあつたが恩師中村賢二郎先生を迎えて尽きせぬ昔話にホテルの定刻八時半を過ぐるこゝと一時間、九時半にやつと散会。

十二月例会は私鉄ストのため中止、本年に入り二月十二日グリルニューオーサカに於て、今田院長を迎えて、二月例会新年会を開く、来会者二十二名、今田院長の結婚当時のスッパ抜き談など飛び出し、新年会にふさわしい予想外の和やかな会合であつた。当日、左記二件を決議す。

1、大阪支部並に大阪弦月会事務所を左記に変更する。
大阪市福島区上福島南二ノ二八三株式会社粟

及ぶ。

先ず日本電報通信社提供朝日放送公開録音の漫才に一同破顔爆笑の後行事に入る。

学院側よりアウターブリッジ院長、今田理事長、他地区より名本神戸支部長とそれぞれ挨拶があり、次に水谷支部長の挨拶及び二十九年経過報告、森田副支部長の会計報告の後、支部長改選に入り、満場一致で水谷勢二氏の留任に決定す。

次いで第二部に入り、アマ手品協会の木村の手品、粕谷二郎及び新日本放送音楽団の音楽と余興を重ね、諸会社より寄贈の福引を最後に校歌合唱、院長及び支部長の音頭で万歳三唱後、盛況裡に解散す。尚当日の出席者次の通り（百四十四名の氏名は省略）

一、当支部会員で住所不明の為、御案内漏れが多数ありますが、今後出席御希望の方は「大阪市東区平野町五丁目一（ガスビル）関西タール製品株式会社内、関西学院同窓会大阪支部」宛氏名、住所、勤務先、卒業年度をご連絡下さい。一、大阪支部同窓会名簿（勤務会社別）を刊行致しました。御希望の向には一部三〇〇円で御頒け致しております。

大阪支部二月例会
昭和三十年二月二日午後五時より梅田新道レストラン・ニューオーサカに於て例会を開く。学年末試験及び入学試験期を控へ、諸事多忙の為学院より先生方をお迎え出来なかつたが、出席者四十八名に及び終始和氣藹々のうち楽しい会合の一刻を過した。

先ず水谷支部長の開会と支部長留任の挨拶に始まり、学院就職主事倉賀野氏から本年度就職状況、同窓会本部天野氏より本年度入試要項について、それぞれ説明があり、続いて先輩である朝日新聞説委員竹中一雄氏より最近の時事問題について講演があつた。

その後、質疑応答に交歓と、同窓諸兄の親交を温めると共に、お互の啓蒙と盛況のうちに午後九時解散す。

生商店内（電話福島五三六一）

2、同窓ネクタイを制定、広く同窓に頒布す
3、製作其他一切を村沢大阪弦月会幹事長に一任。

三月例会は三月三日グリルニューオーサカに於て河辺高等部長の来会を煩ひして開催、各々同窓子弟の入学に關し、無遠慮の希望、質問をあげせかける、部長一々明答を以て、これに酬いらる、八時半、和氣藹々裡に散会した。当日新顔の相当ふえた事は誠に喜ばしい現象ではあるが依然として老人組の出席が多く俱樂部としては今一息の感がある、今後、新人若手組の出席を望む。

大阪支部事務室移転
ホテルナシヨナルに於ける大阪支部事務室は今般都合により左記に移転しました。
大阪市福島区上福島南二ノ二八三
株式会社 粟生商店内
電話福島（45）五三六一

昭和28年秋母校通信第11号

大阪支部

大阪弦月クラブ例会

五月例会は五月十一日、グリル、ニュー・オサカに於て開催、東晋太郎教授、青木福太郎氏を迎へ主として卒業生就職問題に就て隔意なき意見を交換した、特に今夕は折よく来阪中の小沢濱先生を迎えて老いて益々元氣の恩師の回旧談に耳を傾けた、会するもの二十名。

六月例会は六月三日、同じくグリル、ニュー・オサカに於て開催、当日は主としてクラブ設置の件について相談した、会するもの十九名、特に本日は若い会員が多く集つたことはいつもの例会とは異つたハツラツさを感じしめた。

七月例会は私鉄スト其他の都合で月末に近い二十八日同じくグリル、ニュー・オーサカに於て開催、集るもの十二名、例会としては一番の不成績であつた。

八、九月は例会も夏休みとし、十月よりは趣向を新にし「百名会合」をねらつてゐる。

尚当日の出席者は以上の通りであります。（以上の通りでありますと書いてあるが氏名は省略されてゐる）
大阪市

大阪支部三月例会

三月十日午後五時より四ツ橋文楽座別館レストラン・フタツ井に於て、三月例会を開く。学院より原田脩一先生を迎へ出席者は七十四名に及ぶ。

先ず大阪支部永年の懸案であつた大阪関西学院俱樂部設立について水谷支部長より提案があり、種々活発な討論の結果、洵に好条件の下にフタツ井内に俱樂部実現の運びとなつた。

俱樂部発会式を四月一日盛大に行い、以後当支部会員の利便は勿論のこと、大阪支部の存在に一段の光彩を添へ会員相互の智識の交換と徳性の涵養、親睦を目的として運営していくこととなる。

その後原田先生よりユーモアに富んだ挨拶があり、次いで粟生鹿之助、春日保、竹中一雄、原清、吉城貫一郎の諸士による俱樂部設立に關する賛成及び祝辞があつて、各自交歓に入り、八時三十分解散した。

昭和30年秋母校通信第15号

支部通信

大阪支部

一、五月例会

五月九日午後五時三十分より関西学院俱樂部に於て、出席者三十三名を得て五月例会を開く。先ず水谷支部長の挨拶に続き、商学部長青木倫太郎先生のユーモラスな会計学の話があつた。次で、公認会計士試験委員に再選された吉城貫一郎氏の挨拶、更に社用による東南アジア視察旅行より御帰朝早々の近畿車輛立川武衛氏の彼地の市場状況、風俗、習慣など興味ある土産話があり、最後に懇談に入り八時三十分和氣藹々のうち散会した。

二、七月例会

六月は学院に於て同窓会総会があり、支部例

昭和29年春母校通信第12号

大阪支部総会

十一月十七日阪急特別大食堂に於て大阪支部昭和二十八年度総会を開催、林文雄氏司会の下に午後五時開会、粟生支部長の挨拶に続いて役員改選に移る、各部より詮考委員を選定、慎重会議の結果左記各氏満場一致で以て当選した。

一、役員
支部長 水谷勢二（昭二商）
島田利次（昭二商）
林 文雄（昭三商）
副支部長 杉本 治（昭七商）
森田嘉一（昭十八商経）
吉本五郎右エ門（昭廿一法文）

顧問

早川富之助
吉城貫一郎
粟生鹿之助

追つて幹事は支部長に一任、後日選定のこと。

二、事務所移転

大阪市東区平野町五ノ一、ガスビル内関西タールKK内（電北浜五三〇四）

続いて来賓、大石学長並に加藤短大科長の挨拶あり当日の呼び物たる、同窓「かくし芸大会」に移る。阪口善之助司会、吉城貫一郎氏の素人ハダシの魔術、春日保氏の「私は誰でしょう」粕谷二郎氏の創作「のこぎり音楽」粟生鹿之助氏の「のど自慢」近藤光男氏及大槻有恒氏の「ステージダンス」等々、哄笑爆笑、堂をゆるがし午後八時半校歌合唱散会。

昭和29年秋母校通信第13号

大阪支部

昭和二十九年五月十七日於ニューオーサカ一新院長アウターブリッジ先生今田恵先生両氏の御出席を得て参会者三十六名両先生から夫々院長と理事長のバトン引継ぎの和やかな明るい御挨拶があり他方会員からは学生当時の思い出を語り非常に楽しい会合であつた。

当日出席者左記の通り

会は休会とし、七月十三日午後六時より関西学院俱樂部に於て七月例会を開催した。

最初に、総会欠席者の為、支部長水谷勢二氏より当日の大阪支部関係事項についての報告、本年度卒業生の同窓会出席勧誘依頼、関西学院俱樂部近況報告があつた。

次いで学院庶務課長本多虎雄氏より夏向きの「幽霊は存在する」と題してなかなか面白いお話があつた。

その後新卒業生の自己紹介があり、全員拍手を以てこれを迎へ、又前支部長粟生鹿之助氏の歓迎挨拶などあり午後九時盛況裡に終る。出席者五十四名。

三、関西学院俱樂部

(i)俱樂部室の利用は最近テレビを設けましたのでなかなか盛況です。未入会者の入会を歓迎致します。御申込はガスビル内大阪支部又は四ツ橋文楽座内レストラン・フタツ井事務所迄。

(ii)最近俱樂部会費の滞納者が増えていますので、未納者は支部又はフタツ井迄至急御納入下さい。

四、九月例会

関西学院俱樂部及び同窓会大阪支部九月例会は学院より田村経済学部長、三戸法学部長、小西事務局長の三氏を迎へて、九月十三日午後五時三十分より関西学院俱樂部に於て開催しました。田村、三戸両教授の挨拶に続いて、最近アフリカ特派より帰朝された毎日新聞外信部佐藤巧二氏の南アフリカ連邦の人種的差別、アリエジイナの民族意識、アリエジイナ首相の大坂丸訪問や記事取材の苦心談があつた。次に一年半にわたつて中南米を廻られた朝日放送編成局長田中利一氏のコロンビアの社会保障制度、ブラジル移民の現状、南米人質質などをうかがつた。

両氏とも新聞記事に載らない興味ある体験談などで帰期報告会等では到底聞けない面白い又有意義な講演でした。

しかし時間がなくて長くお話し願えなかつたのは残念でした。

最後に議事に入り、水谷支部長より文学部志

賀教授の御逝去について、哀悼の意を表し、続いて倶楽部近況運営委員会発表が行なわれ九月例会も無事終了。

解散午後九時、出席者四十七名。

▲大阪支部より

同窓の皆様へ

一、当支部に於きましては、毎月例会を開催しております。

御出席希望者は、大阪市東区平野町五丁目一番地、関西タール製品株式会社内、関西学院同窓会大阪支部迄、勤務先、同所在地、部課役職、住所、卒業年度支部を記載の上御連絡下さい。次回例会より御案内申し上げます。

二、関西学院倶楽部御入会御希望の方は、倶楽部又は支部迄御申込み下さい。入会金三百円会費月額百円です。

若い方の支部及び倶楽部御加入を歓迎致しております。振って御加入下さい。

大阪支部事務局

昭和31年春母校通信第16号

支部通信

大阪支部

(一)十一月例会

十一月十日午後五時三十分より関西学院倶楽部に於て例会を開く、来賓に神崎前院長、青木商学部長、小西同窓会事務局長、倉賀野学生主事を迎へ。

先ず神崎先生より「最近の関西学院の発展は実に目覚ましく誠に喜ばしいことです」と挨拶があり、次いで三ヶ月に渡る外遊より今度帰朝の青木先生から日本人経済学者の目から見たアメリカ経済の長所及び短所、日本経済に対する関連性等について例の如く諧謔を交えた講演があり一同傾聴する。

続いて倉賀野主事から本年度の学院就職情況の報告と自己紹介懇談に入り八時三十分散会す。出席者四十六名。

(二)定時総会

旧臘十二月十日午後五時半から阪急八階ホー

氏より学院時代の良かった思い出と失敗談に満場を沸す。

三、講演

「最近の証券界と将来の見通しについて」と題して大阪商事取締役安倍五三郎氏より証券界の立場から株価と経済界との関係、将来の見通しなどについて有意義な講演がある。

最後に原田の森建碑の件と同窓会社別名簿改訂版作成の件に関する協力依頼が有って九時閉会す。

三、大阪支部関係幹事会

三月一四日 関学倶楽部総会開催の件

出席者 一八名

五月二九日 倶楽部専用室設置の件

出席者 二〇名

六月一四日 六月例会開催の件

出席者 一〇名

昭和32年春母校通信第18号

支部通信

大阪支部

定時総会

昭和三十一年度大阪支部定時総会は旧臘十二月八日午後五時半より阪急八階ホールに於て開催、出席者百八十名以下判読出来ず、省略。

昭和33年春母校通信第19号

大阪支部

(一)三月例会

三月四日午後六時、梅田新道ニューオーサカ、加藤院長、今田理事長、神崎前院長をお迎えして、三十二年初めての支部例会を開催する。先ず水谷支部長より、庶務報告及び本年度の同窓子弟の学院入学試験について或る程度の便宜は計って頂き度いと要望がありそれについて院長、理事長より、それぞれ学院当局の事情説明があり、出来るだけ善処したい旨話がある。その後懇談会に入り、原清氏の大阪テレビを中心としたラジオ、テレビの商業放送について興味あるテーブルスピーチ等があり、九時散会す。出

ルに於て昭和三十一年度大阪支部定時総会を開催す。

来賓に学院よりアウトアブリッジ院長はじめ今田理事長、矢内中学前部長、本田庶務課長の他七条、小寺両理事、小西事務局長を各地支部より石本神戸、和田和歌山、井上岡山、酒井北九州の各代表を更に神崎前院長河上丈太郎先生をお迎えして出席者は二百五十余にも及び、逐年盛況を見るに至り誠に欣快に存じます。当日のプログラムは左記の通り

- 第一部 司会者 齋藤慶一
- 一、開会の辞 副支部長 林 文雄
- 二、会計報告 会 計 森田喜一
- 一、挨拶 支部長 一水谷勢二
- 一、来賓挨拶 院 長 アウターブリッジ先生 神戸支部長 石本広一氏
- 一、役員改選
- 第二部 司会者 蔵本順吉
- 一、腹話術 ラジオ 川上のはる
- 一、奇 術 顧問 吉城貢一郎
- 一、独 唱 会員 林 孔彦
- 一、鑑演奏 会員 柏谷二郎
- (ピアノ伴奏) 同 夫人
- 一、福引大会 会員 中田賀子
- 以上

役員改選は顧問団一任の動議があり、協議の結果現支部長水谷勢二氏に留任願うことに決定し引続いて御苦勞願うことになる。その間現社会党顧問河上丈太郎先生の来場があり、会場彌が上にも高潮す。先生の挨拶の後、島田利次氏の緊急動議によって「河上先生を囲む会」結成が満場の拍手を以て賛同さる。

夕食の間天野同窓会理事長より原田の森に、学院発祥の地記念碑設立の趣意及び経過報告があり、その募金一口百円の懇請があつて各自の寄附約七千円が集まる。

扱て第二部に入り余興のラジオでお馴染の腹話術川上のはる氏の流石に堂に入ったものであり、吉城公認会計士は定評の通り玄人はだしの奇術を披露する。柏谷氏の鑑演奏は天下一品に

席者四十七名。

(二)関西学院倶楽部総会

六月一日午後五時三十分、堂島クラブ関西、関西学院倶楽部もクラブ専用室を失つて以来活動も鈍り勝ちであるので、定時総会の機会に大いに会員相互の親睦を計らんものと今迄と趣向をガラリと変えてガーデン・パーティーを開く。青い芝生の上に椅子を持ち出し、周りには、すし、おでん、やき鳥の模擬店を出し、上には赤、青、黄など色とりどりの提灯を下げ、舞台装置十分に総会の幕を切って落す。

先ず水谷会長の開会挨拶に始まり、来賓の諸先生方のスピーチに続き、松旭齋晃洋の手品、右楽左楽の漫才、かしまし娘の歌謡漫才と目次が進むにつれ会場には爆笑の渦が巻き、最高潮になったところで、ビールパーティーに入る。各自自由にテーブルの上の料理や、屋台の御馳走をつつき、ビールを傾けながら、グループ毎に分かれ、久し振りに恩師と語らう者、学院時代の旧交を温める者、又新しい知己になる者など歓談の時を過す。最後に校歌を合唱し、学院と倶楽部の発展を祝して万歳三唱の後散会す。会する者六十余名。

(三)十月例会

十月二十八日午後六時、梅田新道ニューオーサカ、十月例会は約一カ年にわたるドイツ外遊より御帰朝になった玉林前文学部長を囲んで「ドイツの近況」を聞く会を開く。

当日、椎名商学部長、神崎前院長もわざわざ御出席下さったが、出席者は三十名と久し振りの例会であるのに案外少なかった。

しかし玉林先生の「ドイツの大学制度、対日感情、アウトバーンの話」など非常に興味深く、話の後も質疑応答が活発に行なわれ、有意義な一タであつた。

(四)常任幹事会

十一月六日午前十一時瓦町関西タール寮 大阪支部定時総会開催の件につき幹事会を招集したところ、忙がしい中を大半の常任幹事十六名の出席を得、支部総会は十二月七日阪急八階ホ

して令夫人のピアノ伴奏と琴瑟相和すと全く文字通りであつた。

最後に会員多数の好意ある御寄贈による福引は大人気呼びアウターブリッジ院長に婦人靴が当り一同爆笑し、又高級ハンドバッグ、香水、カメラなどを貰つて嬉々とする人達など賑々しい哄笑が和氣と共に湧き上り、学院と共に大阪支部の今後の発展を物語る様に大盛況裡に定時総会も九時ようやく閉会す。

(三) 商学部教授を囲む会

十一月二十九日午後大阪商工会議所に於て商学部創立五周年記念講演会が開催されましたが、その機会を利用して閉会後水谷支部長の幹旋とレインボーグレル藤野氏の御世話により、関西タール製品(株)瓦町寮に於て大阪支部有志による「商学部教授を囲む会」が催される。学院より青木商学部長をはじめ小島、原田、小泉、池内、椎名、増谷、島谷の諸教授が御出席になり大阪支部より水谷支部長はじめ天野、早川、吉城顧問など十五名に及び諸先生方と膝を交え、スキ鍋をつつきながら、四方山話に花を咲せ愉快な一刻を過す。

(四) 二月例会

二月八日午後六時梅田新道ニューアサヒに於て二月例会を開く、出席者五十名。

先ず竹中一雄氏より「支部総会の席上河上丈太郎先生の後援会設立の緊急動議が可決され、先生も喜んでこれを受けられた以上、何とか有形のものになくしては」と提案があり、早速同窓会とは別個に世話人会を設け、後援会を作ることとなる

次で朝日新聞論説委員坂本遼氏より「父母に對する児童心理」について興味ある話がある。最後に水谷支部長より三十一年度支部役員の発表と就任方依頼があつて懇談の後散会す。

(四) 大阪支部幹事会

十月二十五日、十一月例会開催の件

出席者 一九名

十一月一日、大阪支部総会開催の件

出席者 七名

ールにて開催の予定で、議事、余興は例年通りとし、それぞれ役割を決めて早急に準備にとりかかることになる。

(四)支部総会

十二月七日午後五時三十分、阪急八階ホール、来賓に学院より加藤院長、今田理事長はじめ十三名、同窓会本部、他支部より四名の多きを迎え出席者約一八〇名。

総会次第

- 第一部 司会 副支部長 林 文雄
- 一、挨拶 支部長 水谷 勢二
- 一、祝詞 院 長 加藤秀次郎
- 理 事 長 今 田 恵
- 第二部 司会 副支部長 蔵本順吉
- 一、漫才 光晴 夢若
- 一、ハワイアン演奏 関西学院軽音楽部
- 一、福引大会

役員改選は会員阪口善之助氏より「選衡委員を設け、その決議によつては」の緊急動議があり、委員協議の結果、来年度も引続き水谷支部長に留任して頂くことになり、満場一致で五選留任に決定。幹事の選衡は支部長に一任となる。支部長は挨拶に「大事業ではあるが、皆様方の御協力によつて、何とか同窓会館設立の基礎と、勤務先別同窓会名簿の再刊を成し遂げたい」と力強く抱負を語られる。食後第二部に入り、先ず光晴夢若の汗をかいての大熱演に会場は爆笑また爆笑。次いで学院軽音楽部のハワイバンドの演奏に耳を傾け、最後に眞打の福引大会となる。

景品は同窓有志よりラジオ、映写機をはじめ多くの寄贈を受け、全員空載なしに大喜び。景品引換えに隠し芸を披露するなど和氣藹々の内に九時漸く閉会。

昭和33年秋母校通信第20号

各地支部

大阪支部 大阪市東区平野町五丁目ガスピル

十一月二十五日、支部総会最終打合の件

出席者 一九名

一月二十五日、二月例会開催の件

出席者 一八名

昭和31年秋母校通信第17号

大阪支部

(一)関西学院倶楽部総会

四月二十八日午後五時三十分より梅田桜橋、「北京」に於て三十一年度総会を開催する。

学院より田村経済学部長、三戸法学部長、矢内中学部長、今田理事長、神崎前院長、小西同窓会事務局長の諸先生をお迎えする。当日のプログラムは左記の通り。

- 第一部 司会者 蔵本順吉
- 一、挨拶 会 長 水谷 勢二
- 一、庶務報告 副会長 林 文雄
- 一、会計報告 会 計 松下 希雄
- 第二部 フロア・ショウ

大阪ファッション・センター提供

先ず水谷会長の挨拶より第一部議事に入り庶務報告、会計報告も型通り終了し夕食に入る。北京料理に舌鼓を打つ間に常の同窓会とは少し趣向を変えて磯部亮平氏の御好意による大阪ファッション・センター専属モデル出演の一九五一年度のトップ・モード・ショウが行われる。食後はファッション・モデルとジャズを歌つたりダンスに打興じたりして和氣藹々のうちに九時散会する。出席者四十名

(二)六月例会

六月十九日午後五時三十分、梅田新道レストラン・ニューオーサカに於て加藤新院長をお迎えして六月例会を開く、会する者三十六名

一、加藤新院長挨拶

院長就任の挨拶に引続き「私は学院出身者ではないけれども学院を愛する気持は皆様方に優るとも劣らないと信じている」と力強く述べられた後今後の抱負などについて話がある。

二、テーブルスピーチ

神崎前院長の紹介について小説家の今東光

関西タールKK内(電☎五三〇四)支部長水谷勢二

支部通信

大阪支部

(一)二月例会

二月三日午後五時三十分より、淀屋橋第百生命ビル内「船舶クラブ」に於て例会を開く。

当夜は八尾市役所三上幸寿氏の御尽力により、現在文壇で人気上々の今東光先生を講師にお迎えすることが出来、その為出席者も六十名の多きを数え、世話役は準備不足の転手古舞を演ずるといふ嬉しい悲鳴を挙げる。先ず水谷支部長より開会の挨拶に続いて、入学試験に際し、同窓子弟については何分の御考慮を賜る様、来賓の諸先生にお願ひすれば、今田恵先生が理事長の立場より、学院当局の意向を述べられ、各部長には同窓諸兄の意を伝え、出来るだけ善処したいと挨拶される。

次いで、今東光先生の講演に入り、先生の学院時代の思い出から、女の人に親切すぎて転校を命じられ、その後上京して、一高、東大の講義を授業料も払わず、もぐりで聴講に通つた話などそのまま先生の小説の中に出て来る様な話で、満場爆笑が続く大喝采であつた。

最後に支部長より関西学院倶楽部総会を近く「クラブ関西」で賑やかに開く予定であると披露があり、又同窓会館を是非大阪の地に建設したいと熱情を訴える。

(二)関西学院倶楽部総会

六月二十六日「クラブ関西」に於て、第四回関西学院倶楽部総会と大阪支部例会を兼ねて、来賓には小宮新院長はじめ多数の御出席を得て開催する。

前年も場所も同じ「クラブ関西」に於て、ガーデン・パーティーを開きましたが、非常な好評を博したので、本年も少し趣向を変えて、ガーデン・パーティーを開く。

堂島河畔、眞青な芝生のあちら、こちらにテーブルと椅子を配し、その周りに焼鳥、おでん、にぎりずしの模擬店を作り、舞台効果は満点で

ある。

先ず水谷会長の挨拶に続き、小宮新院長の就任挨拶と学院発展の為に教授、同窓、学生の三者がしっかり手を握って行かなくてはならないと力強く今後の抱負を語られる。次いで余興に入り、アサヒ・ビールより出張の生ビールのジョッキを傾けながら、川上のぼるの腹話術とかしまし三人娘のにぎやかな歌謡漫才に笑い興じ、会場は一段と賑やかさを増す。その後各自グループに分かれ、テーブルの上の料理をつついたり、模擬店の暖簾に首をつつこんだりして、歓談のうちに楽しい一夕を過し、時のたつのも忘れる。

最後に菅沼安人氏の指揮で校歌「風に思う」を全員合唱し、院長、会長の音頭で関西学院及び同窓会の万歳を三唱して散会す。出席者一〇七名。

昭和34年春母校通信第21号

支部通信

▼大阪支部

(一)十月例会

十月二十二日夜カスビル八階特別食堂に片山文学部長、加藤高等部長、玉林、久山教授、神崎元院長をお迎えして例会を開く。

先ず水谷支部長より学院創立七十周年を来年に控え、種々の記念事業遂行のため、今後一層同窓の結束を密にするよう依頼があった後、十一月二日フェスティバル・ホールに於て文化祭を開くに当り学院側より玉林学生部長、久山教授が、学生側より川本文化総務部長がそれぞれ立って「本文化祭は七十周年の前年祭として、また、学院、学生、同窓の三位一体の事業として盛大に開催し、大阪の地に於て大関西学院のデモンストレーションをしたいので皆様方の御援助をお願いしたい」と挨拶があり、大阪支部の事業として全面的に後援を約す。

次いで、蔵本副支部長の肝入りで今度発会した豊中弦月クラブの披露がある。

この会は大阪支部の組織の一つとして豊中在

住の同窓約五〇〇人で構成され、同窓の親睦と五〇〇名に及ぶ豊中在住在校生の援助を計るものである。

歓談の後九時散会す。出席者四十四名

(二)定時総会

大阪支部定時総会は十二月六日夜阪急八階ホールに於て、約二二〇名の御出席を得て開く。

先ず第一部は水谷支部長の開会の挨拶および庶務報告によって始まり、小宮院長、今田理事長、小野神戸支部長の来賓挨拶があり、続いての役員改選は七十周年を来年に控え、水谷支部長に来年一年間だけ留任願うことになり、御了解を得て五選就任となる。他の役員については支部長一任をもって議事終了す。

次いで開宴に入り、来賓、同窓のテーブルスビーチに続いて第二部余興に入る。先ず都家文雄、美智代の御両人が舞台上立ち、例によってのボヤキ漫才で会場に爆笑を起す。次に「オールド関西」に始まるグリークラブOB、新月会の合唱があり、久方振りのグリーに全員耳を傾け、学院らしい雰囲気にはなった後、本日の呼物、恒例の空クジなしの福引大会に入り、同窓会から寄贈による沢山の賞品をそれぞれ頂き、賞品係には仮装のミッチーまで飛び出して盛況裡に終る。最後にグリークラブの音頭によって校歌「空の翼」を合唱し、万歳三唱の後散会す。

(三)二月例会

本年初めての例会を二月十八日梅田新道ニューオーサカに於て、小宮院長、片山文学部長、玉林学生部長、河辺宗教総主事をお迎えし、また昨年大阪支部の推薦で同窓会員になられた今東光氏の御出席を得て開催する。

水谷支部長より七十周年記念事業資金の募金趣意の説明と協力の要請があった後、小宮院長より七十周年に際しての学院の抱負と今後同窓会との連絡を密にし、学院発展に寄与したいと述べられる。食後、御多忙中をさいて御出席下さった今東光氏の講演に入り、学生時代の思い出や、神戸の町を持つハイカラさの話から、三十円の御布施の話まで、ラジオ・テレビで御存

知の通りの話振りに笑いのうちに刻を過す。九時散会、出席者七十三名。

四関西学院倶楽部役員会

三月十六日レインボー・グリル、出席者二十二人。

同窓会有志により関西学院倶楽部が四ッ橋文楽座「二ッ井」内に三十年四月結成され、大阪の地に専用のクラブ室を持つことが出来たのですが、その後約一年半で文楽座の道頓堀移転に伴ない、消滅の止むなきに至り、活動としては一回、クラブ関西を借りてガーデン・パーティーを催すのみとなりました。処が近く平野町に七階立ての「新杉ビル」が新築完成するに当り、水谷会長に対し、新杉主人三井氏より「子供が二人学院にお世話になった関係上、破格の値段で七階全部を提供しても良いから使ってみてはどうか」との申込みがあったので早速クラブ役員会を開催しました。

新杉ビルは大阪の中心、平野町を御堂筋から約半丁東に入った絶好の場所に当り、七階総坪数九十坪のうち、八十坪がクラブとして使用出来る恰好の話なので、会員を一人五〇〇円として、三〇〇人の会員を集めれば維持出来るのであるから、何とか実現に努力することになる(後記)

①同窓会大阪支部例会に御出席希望の方、また関西学院倶楽部についての御問合わせ。

②大阪支部関係者七十周年記念事業募金申込、および問合わせは、

大阪市東区平野町五丁目一番地

関西タール製品株式会社内

同窓会大阪支部

電話②三六一一四番 長谷川迄

昭和34年秋母校通信第22号

各地支部(三十七支部)

大阪支部 大阪市東区平野町五丁目カスビル
関西タールKK内(電②五三〇四)支部長水谷勢二

際どしどし御推進下さって、同窓相互の親睦と社会活動においての協力関係が得られる様、凡ゆる方法での同窓結果運動の展開を期待して止みません。現に去る九月十七日、東大阪方面(布施市、八尾市、枚岡市、河内市、柏原市その他)には大阪支部のいわば下部組織としての「東大阪クラブ」結成の世話人会が開かれました。近大々的に結成大会が行われる予定と報ぜられています。

なお本年度大阪支部総会は十二月七日(水)と、先月の常任幹事会において決定されました。例年通りの呼物「福引」を中心にして盛大な総会とするよう十月上旬の幹事会において具体的準備を進める予定です。——九・二六、菅沼記——

昭和36年春母校通信第25号

北から南から 支部・サークル通信
大阪支部

昭和三十五年度の支部総会はクリスマスにはまだ少し間がありました。忘年会をかねて去る十二月七日午後六時三十分より御堂筋で、こう北側の東天閣で開催しました。

学院より木村新理事長を始め、古武、河辺、椎名、相浦の諸先生のご来臨を得まして、五百人に及ぶ会員が参集されました。ところが会場は超満員で立錐の余地もなく、せっかく会場へ来られながら帰られた方が五十人以上にも及びました。全く予想だにもなかった人員のため、幹事一同収容に努力いたしました。がてんやわんやの大騒ぎで、会員の皆さんに十分のサービスも出来ず、特に入場出来ないで帰られた方には申し訳なく本誌を借りてお詫び申し上げます。

総会は高原副支部長の開会の辞に始まり、松竹新演芸で売出中の和楽の曲芸、ラッパ、日佐丸の漫才に会場は爆笑の渦となり、お腹をすかしたところでクーツと一杯……会食に入ります。

次いで沢田支部長の挨拶、学院を代表して木村新理事長、支部を代表して和田和歌山支部長

支部通信
大阪支部

五月例会を十一日梅田新町ニューオーサカにて開催しましたが、入試、選挙のシーズンが終った為か、出席者は五十一名という淋しさでしたが、学院より小宮院長、今田理事長、相浦神学部長、前田法学部長をお迎えして、内容はなかなか盛況な会でした。

先ず水谷支部長より開会の挨拶に次いで、本年の入学試験の際、同窓会推薦者については例年以上に特別の御配慮を頂いたと報告があり、又、七十周年記念募金運動に大阪支部は五〇〇万円の割当てを受けましたので、目標額達成のために同窓各位の御協力をお願いし、要請がある。

次いで小宮院長より七十周年を契機として社会学部、理学部の新設、体育館、グラウンドの建設など今後一段の飛躍を期したいと抱負を述べられる。続いて新任の前田法学部長の就任挨拶の後、相浦神学部長の祈禱により夕食に入る。

食後テーブルスビーチに入り、先ず京都よりお見えの武田徳倫氏(文大正一五)が大映のバイプレーヤーとしての経験談などを話され、次いで今回の地方選挙で大阪府会議員に再選された北田駒造氏(商七)の当選談と豊中市会議員選挙に惜しくも敗れた蔵本順吉氏(商一〇)のユモアたっぷり落選談に花が咲く。沢田修太郎氏(商四)が卒業後満三十年の記念として、同期の人々に連絡をとって、三月の卒業式には多数の人達が学院に集りましたと心暖まる話である。

又、水上有君(商三二)より支部の会に出席者が少ないこと、若い方をもっと勧誘すべきであると建設的な意見が出され、今後出席者は出来るだけ多数の人を誘い合わせて出席する様申し合わせて散会す。

昭和35年秋母校通信第24号

北から南から 支部・サークル通信
大阪支部

会場に山と積まれた景品は、何れも同窓有志のご好意ある寄贈品で、会の盛況に一段と花を添えられるものとして、ここに寄贈の同窓方に深くお礼申し上げる次第であります。

福引は菅沼副支部長の解説つきで、次々と進められ、女子会員代表の力添えによりガストープを始め、ハンドバッグ、カメラ、万年筆、服地、薬品、食料品、菓子、事務用品など、全員にもなく手渡され、日頃のオヤジも兄貴も子供にかえった心持で喜び合い、時の経つのも忘れるばかりでございました。

やがて九時半ともなりましたので心残りではありましたが、一同再会を約して校歌「空の翼」また逢う日までを合唱し、在学時代を偲びながら支部の万歳を三唱して散会したのは十時近くでありました。

出席人員の把握が困難のため当日受付、会場で相当混雑をきたし、ご出席の会員の皆さんには大へんご迷惑をおかけしましたが盛会の限りで、主催者側として喜びこれに過ぎるものではありません。同窓多数が一堂に会し、在りし日を偲び、来たる日を語り合うことの喜びは何にもかえ難いものであります。

次回は本年度卒業の新会員歓迎の例会を七月頃にもつと広い会場で開催する予定をしております。細目決まり次第、職場か幹事を通じてご案内申し上げますから、その節は多数お誘い合せのうえ参会下さるよう、よろしくお願いいたします。

昭和36年秋母校通信第26号

各地支部

大阪支部 所在地 大阪市東区道修町三丁目塩野義製薬
内電②二二六 支部長沢田修太郎

大阪支部

昨年から始められた大阪支部主催の新卒会員歓迎のビヤパーティーは今年は大坂の夏のシン

ボル天神祭の翌日の七月廿六日の夕、新道同和ビル地下の直営アサヒビヤホールを借り切つて開催した。昨年暮支部総会に予想以上の会員の出席があつて超満員札止めの盛況でうれしい悲鳴をあげた経験から、出席予想数と、会場設営とは、幹事一同の頭痛の種であつたが、支部組織の中核体である名簿整備済みの個人及び勤務先三七五社約三、三〇〇名の同窓、並に幹事等を通じてパーティー出席者の捕捉に努めた。

今年は「ビール飲み放題」ということにして、新卒会員を囲んで大いに氣勢を揚げようという趣向である。

定刻六時過ぎには陸統として会員の参集が続く。同窓会旗を中心にした会場には校歌のレコードが高らかに新旧会員の心を和やかに結び合せて一人歓迎気分をかき立てている。新卒会員の胸のネームカードには赤く斜線が入れられてあり、新旧交歓の目印になっている。歓迎会にふさわしく新会員の出席者が多い。約三割強が母校からは夏休中にも拘らず、小宮学院長始め武藤学生部長、片山文学部長、大道社会学部長、椎名前商学部長、鈴木信五郎教授等の御出席あり、錦上花を添える事が出来た。同窓会本部の天野会長が巨艦をにこやかに見せられる。あちこちの新旧交歓の中に一入輝く光頭は神戸の小野支部長だ。いつもながらの御熱心な御参会には感佩する。古い先輩では先日第一線を退かれた江商の朝長相談役の顔も見える。前支部長の水谷関西タール社長、朝日放送の原常務らの他に吉原製油社長というより画家としての方が通りのよい吉原治良氏が令息二人を帯同して参会されているのが目につく。会場は既に満員となり参会者は約四百名余。

会は例によつて蔵本幹事の名司会によつて始まり、沢田支部長の新会員歓迎のことは、庶務報告のあと支部同窓大阪ガス藤坂修美社長の藍綬褒章を、また大原錦二氏が黄綬褒章をそれぞれ授与された業書を報告し、出席会員一同また拍手をもつて祝意を表した。続いて小宮学院長、椎名前商学部長、武藤学生部長、鈴木教授、天

野会長、小野神戸支部長、尼崎支部長代理ら来賓の挨拶があり、旧会員を代表する水谷前支部長のスピーチは熱弁満堂を庄して大いに氣勢が上がる。続いて新会員を代表して数名の諸君の元氣はつらつたる頼もしいスピーチがあり、中にも紅一点の女子新会員の清新華麗な大雄弁には会場がどつとわいた。

パーティーの気分は漸く最高潮に達し、ビールの満をひくもの、談笑に花を咲かすもの、同窓会にのみ味える心おきない楽しい交歓風景であつた。八時過ぎ校歌斉唱、讃美歌「また逢う日まで」を合唱、支部長による関西学院万才、学院長による大阪支部万才をそれぞれ三唱して盛会裡に散会した。

なお大阪支部としては従来から御報告している如く、職域別組織によつて連絡活動を行うよう名簿の整理を行っているので未報の向きは幹事及び連絡係を御指定の上、支部（大阪市東区道修町三丁目十二、塩野義製薬㈱内）まで御連絡願いたい。本部とは違ひ支部活動は一文の資金も専従者もなく、支部長始め幹事の犠牲と奉仕によつて運営されている状況であり、広い大阪地域の支部の活動は組織化された職域単位の幹事の理解と責任ある協力なくしては到底満足に目的を達成し得ない実状にある。近時、回を重ねるに従ひ益々盛会となりつつあるパーティー、総会等は安い費用の会場難と共に、その出席予定数との調整は幹事一同にとつて全く想像以上の難問題となりつつある。同窓会の強化を図り、会合の盛会と快適さを得るために、同窓各位の理解並に組織化推進に対する積極的な御援助を期待して止まない。（菅沼記）

昭和37年春母校通信第27号
大阪支部

新入会員歓迎
（パーティー）
とき：昭和三十七年六月一日（金）
午後六時～九時
ところ：大阪梅田に新築された新阪急ビル十

補佐役を務めることが第一の任務であると思つています。

そしてまた、出来得る限り多くの、年度別、クラス別、部別、職業別、会社別あるいは地区別等いわゆるグループ別同窓会の結成を慫慂し、かつ支援して、同窓生相互の親睦と智識と品位の向上を計ることもまた重要な仕事であります。

我々は最も大切な道徳教育を主眼とした関西学院に学び、必ずやその学院精神の真髄を發揮するものと確信しています。同窓生から一人でも多く、教養ある立派な社会人を出すことは母校の名譽であり、また、母校の格式を上げ、同窓生相互の利するところもまた大であります。

我々はあらゆる場面において、学院の卒業生であるとのプライドを忘れてはならない。母校は私どもの心のふるさとであり、同窓会は心の糧であります。母校の発展は私ども校友の双肩にかかつています。従つて常に母校と校友の集りである同窓会につとめて出席して、親密なる連絡を保つていただくことを特にお願い致します。

事務局としては支部の勤務先別の名簿を作成していますので、各社の関学の同窓会の幹事の方はご面倒ながら、在籍同窓生の氏名、役職、卒業年次等記載の名簿を支部事務局（東区横堀一丁目、江商株式会社金属鉱山部内）までお送り下さるようお願い致します。また個人でお仕事をしておられる方も、お知らせいただければ結構に存じます。

昭和38年春母校通信第29号
支部長列伝

これで学院同窓会支部も四十三になった。支部を背負う人いわば大黒柱が支部長さん。これから各地の支部長紹介シリーズをはじめが、トップバッターに、最大の会員数を誇る大阪の朝長正男氏と地元西宮の辰馬竜雄氏に登場してもらった。

マンモス支部の大黒柱
大阪支部長 朝長正男氏

支部とはいっても大阪には通勤者、在住者をあわせて約一〇、〇〇〇人の同窓がいるのだから、大きい大学の同窓会なら二つ分ぐらいのサイズである。支部名簿にのつているだけでも三〇〇〇人、総会を開けば七〇〇人がつめかける。

この「マンモス」支部をあずかる朝長正男氏は、大正十一年卒の高商七回生。長崎県大村に生まれ鎮西学院を出てから、笈をおつて、学院にはいった。当時の学院はいわば第一興隆期、ようやく声価が定まつて、学生の意気軒昂たる時代。強かつたテニスの試合には院長以下、全学あげて応援にかけつけた。大正九年ライバル神戸高商との対抗戦に、勝つた試合を負けたときなど、選手一同、観衆の前でオイオイ泣いた。泣いていてもはじまらないと、選手はその日六月十三日にちなんだ「六十三（むつみ）会」を

結成して復讐をちかうは、畑敏三部長は有名な「ノーブル・スタボネス」の標語をつくつてハッパをかけるは、曾木銀一郎先生にいたつてはわざわざ催眠術をよんで来て選手に催眠術をほどこすは、で、全学あげて声援がつづいた。奮起した選手たちは精進にはげみ、秋にはみごと雪辱に成功、余勢をかつて西は九州までの各チームをなぎたおし、「テニス王国関西」の名をとどろかせた。そのときのテニス部の中心が、いまの朝長支部長なのだから、同氏が「スポーツはスポーツマンの宗教なり」を座右銘にしているしんからのスポーツマンなもつなずけるわけ。

マンモス支部とはいっても会費収入があるわけでもなし、専任の事務局すらない支部だけに支部長のなり手がなかなかないのが実情だが、選ばれた以上はベストをつくす……というのもスポーツマンのよき。地区別、業種、クラス別の組織づくりを力をいれ、このほど「東大阪地区クラブ」が結成された。五月十二日には初の近畿地区支部連合の新入会員歓迎会を大阪で引き受けた。

引き受けたら最後まで
卒業後、江商にはいった朝長氏はすぐインド

二階大ホール
会費：会員：六百元 新入会員：三百円
全国各地支部一覽表
大阪支部 大阪市東区横堀一丁目一一 江商
㈱内 支部長 朝長正男
各地支部
大阪支部

豪勢な福引に歓声わく
年に一度の支部総会が、開戦記念日の十二月八日夕刻から阪急特別食堂において四百七十名に及ぶ参会者を得まして盛大に催されました。師走ともなれば、何となく気ぜわしいものでありますが、クリスマスには一寸早い一ツ、小宮院長を始め諸先生方、同窓会本部、支部の来賓の臨席を得て、会場快しと許り総会の行事が繰展げられました。

会場は総会参会者の増大によつて種々苦慮いたしましたが、結局地理的に好条件であり、昔からなじみ深い阪急食堂で、不本意ながらパーティー式により催しました。

菅沼副支部長の司会のもとに、沢田支部長より一般事業報告が行われ、ついで小宮院長、天野会長の祝辞が述べられ、会食が行われました。沢田支部長には二年の任期を全うされ、役員改選が行われましたが、新支部長には大正十一年高商卒業、庭球部先輩の江商株式会社相談役、朝長正男氏が満場一致で推挙され、就任されることになりました。

会場は行事の進む程に盛況となり、漫才二題も騒音にかき消される程でしたが、待望の福引きが催される頃には最高潮に達しました。会員諸兄より御寄贈の景品は山と積まれ、背広服地金のネックレス、オルゴール、ガストロブ、皮靴、ホークスのサインボールなど、當つてうれいものばかり……。

福引は司会者により次々と紹介され、爆笑や歓声の渦の中に全員にそれぞれ景品が渡されました。嵐の後の静けさの如く、総会が終つたのは九時すぎでした。

後記：支部長が交替されましたので、事務局も

に派遣され、昭和二年全印テニス選手権大会で、シングル、ダブルス、ミックスダブルスの三試合に勝ち「三冠王」となった。もちろんテニスばかりしていたわけではない。激務のかたわら二年間、一日も休まず毎日原稿用紙一枚ずつ書いていった「印度棉花事情」（昭七）はインド棉花に関する本邦最初の文獻として高く評価された。その後、天津支局長、取締役、東京支店長、常務を経て、現在同社の常任相談役。

「最近の若いものはどうもエチケツトを知らない。世界の一等国民になるには日本の教育界も考えなおすべき点がある。学院などは率先してやるべきだ。また学院の英語はレベルが高いというが、一部の優秀な人は別として、一般的にそうだろうか。学院の反省をうながしたい」と、自己にきびしいだけに批判もなかなかきびしい。

朝長氏をよく知るある同窓に、人物評をきいてみた……。
「朝長さんに感心することは、スポーツマンらしく、シンがあり、粘り強いことだ。他人の世話をひき受けたような時、とにかく最後まで世話をしとおさなければ決してあとへはひかない。とことんまで世話をして、目的が達せられたことを見とどけなければすまさない。つぎに演説がとてもうまいことだ。演説をそのまま筆記すれば名文たることまちがいないである。これは彼の頭の下さを物語るものといえよう。彼は小唄の名手であるが、この耳の下さ、のどのよさ、頭の下さ、が演説の名調子に現われているように思われる。」

家庭では喜代夫人と令嬢夫妻にお孫さんの五人ぐらし。ゴルフもハンディ９でシングルの腕前。六十五才。

昭和38年春母校通信第29号
七三五名が参加

大阪支部定期総会
同窓会大阪支部総会は昨年十二月十一日、大阪御堂筋の御堂会館で、盛大に行われました。

江商（大阪市東区横堀一丁目一一 江商（株）金属鉱山部気附）に移りました。二年間、支部会員の皆さんの御協力を心から御礼申し上げます。今後共、支部への御協力御支援を切望してやみません。（岩佐記）

昭和37年秋母校通信第28号
全国各地支部一覽表（42支部）

大阪支部 大阪市東区横堀一丁目一一 江商㈱内 電（41）〇九二七 支部長朝長正男
大阪支部
十二月十一日年次総会開く

大阪支部では、去る六月一日「新会員歓迎パーティー」を新阪急ビル十二階大集會場で開催した。新会員二〇名、旧会員二三八名、計四四〇名が出席し、学院からも小宮院長はじめ数氏が参加、なごやかな雰囲気の中にビールを酌みかわし、初夏の夜を楽しく語り合った。

なお年次総会は、来る十二月十一日（火）午後六時から、御堂筋の御堂会館で開催する予定になっており、支部会員多数の出席を期待している。

本部活動の支援が第一
大阪支部長 朝長正男

私は昨年末沢田支部長の後を継ぎ、大阪支部長に祭り上げられたのでありますが、果してこの大役を果し得るか、何をなすべきか、愛校精神を高揚するため、いろいろな会合を設け、同窓生並にその子弟をお世話すること、本部を通して学校当局にいろいろ進言する等も任務であり、やるべきことは沢山ありますが、実際問題として、専任の事務局と基金を持たない支部としては、やりたいことも十分出来ない現状であります。

年会費を集めて基金を作れという意見もありますが、本部の募金さえ苦労しているのに、これだけ膨張した大阪支部の会費徴収はなお一層事務的に困難であります。

従つて私の結論は支部としては常に本部中心主義に動き、本部の活動を強化するため、その

大阪支部は会員数において、年々増大の一途にあり、約三千人で全支部中では最多数の会員を持つております。朝長支部長以下世話人役の幹事は他の支部とはまた違った悩みをもつております。総会を開くにも、多数の会員が集まりやすく最も効果的に会を進行させ得る場所を選定するのが、第一の問題となります。また、多くの会員の中から何人の出席があるか、いつもながら期待と不安とを交えて会のフタを開けるのが常であります。

しかし本年はこれまでにない七三五人という出席者が得られ、弁当や飲物の手配に係員が奔走するなど嬉しい悲鳴をあげるほどでした。今度の総会形式は、例年とは異り、劇場用の御堂会館を選んだこと、家族招待も行い同窓諸氏が家族とともに気軽に学院の雰囲気を楽しんでいただけなことなどあります。当日は学院から小宮院長、堀学長、池田教授、東教授など諸先生のお元氣な顔を見せていただくことが出来ました。小宮院長、天野同窓会長、朝長支部長の挨拶と報告があり、総会は順調に進められました。また池田教授訪韓の際、現地における同窓の健在ぶりをたまたま見て来られたというご報告をいただいた。久しぶりに講義の時の口調を思い出すことが出来ました。

このあと、早速われわれの同窓である今東光氏の講演が行われた。例の毒舌とユーモアたっぷりの話しぶりに恩師の方々も苦笑の「コマ」もありました。
引きつづき学院グリークラブのOBで構成されている「弦月会」の男声合唱、同窓の若手四人で結成され最近活躍している「ザ・セインツ」の演奏が行われ、会場は一転して軽音楽のムードが流れた。

このあと、お楽しみの福引が行われ、蔵本順吉氏がサンタ・クロースに扮しての名司会ぶり、会場には笑いが次から次へ、賞品が出席者全員に渡された。いずれも、同窓有志、諸会社から寄贈を受けた高価品で、カメラあり、ガストロブあり、ゴルフセットあり、その他装飾

品、衣料品、食料品など全員もれなく福引を樂しみました。寄贈のご好意を受けた各位に対して心から感謝申し上げます。なお、この感謝を有意義にするために出席者が幾らかずつ歳末の助け合い運動の基金にすることが提案され、一同募金に協力し合いました。

閉会後、集計した結果、二万五千二百円も集まりました。さつそく朝日と毎日の両新聞社に半額ずつ委託し、歳末助け合い運動に募金しましたこともこの誌上を借りて、ご報告申し上げます。来年度の年末の総会は一層発展させて、京阪神の支部が一致して、同窓会本部をより盛り立てるように念願しております。「フェスティバル・ホール」でも借りて、盛大にやろうという声も多く聞かれます。いずれにしましても会員の各位のご支援がまず第一でありますので、よろしく願ひします。

グループ別けを推進

支部長 朝長正男
なお、席上、朝長支部長は、つぎのような会務報告をしました。

総会と申しまして特に報告事項もありませんが、大阪支部は六〇名の幹事と常任幹事で組織する幹事会はその必要に応じれば開催しております。支部の大会は本年六月一日に新しい卒業生の歓迎会を催したと本日総会とあります。毎年春の入学試験の時期には支部として同窓の子弟ならびに関係者の入学のお世話を致しております。また同窓関係者の紹介幹旋、本支部間の連絡、名簿の整備、その他母校関係の行事には支部として極力後援致しております。

会計報告としては、決った会費をいただいておりますので、本部からの一カ年六万円の補助金と、大会のつと多少の余剰金を生ずることもありまです。これを支部の経費に充当してあります。前年度の繰越金は二十五万九千円、春の歓迎会で足を出したので、本大会前の十一月末のバランス残は十五万八千円となっております。

母校は現在約四万の校友を持ち、大阪支部の会員は常に異動しておりますが一万人に近いと推定されます。何分にも専任の事務局を持たない支部は、常に本部中心主義に動き、本部の活動を強化するためその補佐役を勤めております。そしてまた出来る限り多くの年度別、部別、職業別等グループ別同窓会の結成を慫慂しつつ支援して、同窓生相互の親睦と知識と品位の向上を計ることも、重要な任務としております。

私は今から四十一年前の卒業生であります。願ひますと、あの原田村時代にバラックの校舎でわが青春の記を書きつづつたころの関西学院と創立七十三年を迎えた今日の関西学院とを比較して見ると、校友のいちじるしい増加とあらゆる面における内容の充実と優秀であることはもとより、正にハイタレント、つまり文化と政治経済の発展をリードする、いわゆる人づくりの関学精神の成長と発展はまことに意義深くして、目をみはるものがあります。

各方面にわたり校友の目覚ましい活躍はまことにご同慶の至り、母校の名誉はもとより、われわれ校友の誇りとするところであります。同窓の皆さま、母校は私どもの心のふるさとであります。母校の発展は私ども校友の双肩にかかっております。つね日ごろ職務ご多忙とは思いますが、出来る限り一人でも多くの校友をお誘い合せ、同窓会との連絡を密にしていきたいと思います。

昭和38年秋母校通信第30号

大阪支部定時総会

十一月二十五日朝日ビル13階ホールで開催
本年度定時総会を十一月二十五日(月)午後五時半から新朝日ビル十三階朝日ホールで開催します。同ホールは千名以上を収容できます。皆様のご出席を希望します。前売券を皆様に送りしますからよろしく願ひします。ご希望の方は支部または本部へお申しこみ下さい。

本年は役員改選も行わねばなりません。一昨年朝長支部長を迎えて二年間母校の発展とともに

に本部支部の緊密化が増大して同窓会は大へん強化しました。母校の前途は洋々として名実ともに日本の大学として進出するに及び財政的に重大な時機に立っています。同窓会の責任もますます重大であります。大阪支部の占める地位はその何割と申すべきでしょうか。同支部の発展のため来る総会には皆様お誘い合せ多数ご参加をお願い申し上げます。当日はいろいろ面白いアトラクションを計画しておりますのでご期待下さい。

新会員歓迎会

本部総会が大阪太閤園で五月十二日(日)開催されましたので本年は合流して本部の新会員歓迎会となりました。当日の参加者八〇〇名中約三〇〇名の新会員が恩師先輩や夫人、子供さんを混えて日曜の午後半日を最後までにぎやかに楽しく有意義に過ごしました。大阪支部関係は新旧あわせて約六〇〇名が参加。ビールや料理に舌鼓をうってガーデンパーティーの楽しさと盛大さは同窓会初まって以来の盛況でした。ついで前売券売捌き、会場整理などに尽力下さった支部幹事の皆様のご苦勞を厚く御礼申し上げます。

東大阪クラブ誕生

吉城貫一郎氏を会長として副会長三名をもって本年春誕生しました。近鉄沿線の布施、八尾、河内、大東、枚岡の五市在住約六百名を会員とするクラブです。大阪支部は毎年千数百の新会員が増加し、現在すでに会員二万を越すに及んでは会員の連絡も不十分で、とても親睦をはかる総会も徹底しかねる有様です。そこで朝長支部長をはじめ世話係としては東大阪クラブのよう下部組織として地域的、職域的、スポーツ、文化を通じて多数のクラブを結成して欲しいと思っています。

すでに豊中、三島地方、京阪沿線、南海沿線の五地区に漸次クラブ誕生が準備中と聞きますが、早く実現して欲しいものです。近く同窓会名簿が四年ぶりに今年こそ確実な名簿が発行される筈です。これで同窓会も一段と強化するこ

とが期待出来ます。大阪支部も各会社の同窓会名簿が届けられています但未だ連絡のない個人会社とともにどうぞ支部へご連絡下さい。何万人という支部会員を確保するためには皆様のご協力無くしてとても達成出来ません。お一人々々が母校と同窓会発展のためにまず支部の強化が必要であります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

昭和39年春母校通信第31号 大阪支部

盛沢山行計画

新支部長南海ホークス橋眞琴氏

昭和三十八年十一月廿五日、新朝日ビル十三階ホールにおいて昭和三十八年度関西学院同窓会大阪支部総会が開催、支部長改選の結果、三十九年度から二年間新支部長として橋眞琴氏が就任されました。橋氏は昭和三年高商卒、直ちに南海鉄道KKに入社され、現在南海電気鉄道株式会社常任監査役、南海野球株式会社(南海ホークス)取締役社長職のほか数多くの要職にあり、ご多忙中のところをお引受けいただきました。氏は今更ご紹介するまでもなく、学生時代からのスポーツマン。登山、スキー、ゴルフ等万能選手として知られ、後輩の指導育成に力を惜しまぬだけに今年度の支部長就任については関係者の期待するところが大きい。

三十九年一月、副支部長として藤田弥一郎氏、蔵本順吉氏、三戸誠氏、竹村房之助氏を選出、幹事の選出も終え、二月十日第一回の幹事会を大阪「ミュンヘン北店」において開催、四十五名が出席、盛大に行われた。

席上、橋支部長より三十九年度計画の発表があった。右計画によれば四月にはバスツアー開催、五月大阪支部新入会員歓迎会開催、七月大阪球場ナイター観戦、十二月初旬、大阪支部総会を予定、また学院の募金にも大いに協力したいなど盛り沢山なものであった。同氏に対し毎日放送顧問岩崎愛二氏から、満場拍手喝采のうちに花束を贈呈した。また当日おしそがしへと

ころ、同窓会会長の御來席を賜った。かくて和氣あいあいのうちに楽しい一時を過し、関西学院同窓会大阪支部の前途洋々たるを思わせた。

第二回の幹事会は三十五名の出席をえて、三月十六日大阪北浜の「清華」で開催。四月四日バスツアー開催の件、五月十日同窓会本部総会に大阪支部もふるって参加すること。六月十六日、文化総部主催のムーンライトフェスティバル実施要項の説明ならびに入試結果報告等があり、広東料理に舌鼓を打った。

関西学院同窓会大阪支部は南海電気鉄道KK内に事務局を持つておりますから皆さんの御連絡をお待ちしています。

昭和39年春母校通信第31号

全国各支部一覽表 48支部(昭和39年4月現在)

大阪支部 大阪市南区難波新地六 南海電気鉄道KK・企画部企画一課 電(631)一一五一 ◇橋眞琴

昭和41年秋母校通信第36号

大阪支部

なつかしい顔にあがる歌声
学生歌を披露する若い歌声

梅雨あけのビール・パーティー

梅雨もようやくあけた七月十五日(金)の夕べ私たち関西学院同窓会大阪支部は、暑さをふつとばせとばかりに、飲み放題、食べ放題のビール・パーティーを開催しました。

当日は、会場の梅田・東阪急ビル・スコールサントリーに今田名誉教授、武藤学生部長、同窓会本部の坂本専務理事らをお迎えして、三百余名の同窓生が集まりましたが、天野会長、広瀬支部長のあいさつの間も待たず久方ぶりのなつかしい顔々との再会に、あちこちで明るい歓声が上がっていました。

会がすすむにつれて、昔話ごとく出せば、新しい学生歌を披露する若い歌声がこれにこたえるなど、なごやかな中にも有益な一夕を過し、空

の翼」の大合唱を最後に、午後九時、散会しました。

ところで、今度のこのパーティーのご案内が届かずにご立腹の方がいらっしやるのではないのでしょうか?事務局では、まだ大阪支部の全会員数もつかめていないのが現状です。そこで各社の関学同窓会の幹事さん、あなたの会社の同窓生名簿をご送付下さい。連絡先は次の通りです。

大阪市東区北浜五丁目十五
住友商事株式会社 電機第二課
工藤裕氣付

関西学院同窓会大阪支部事務局
皆様のご協力をよろしく願ひいたします。
なお十二月初旬には、大阪支部同窓会総会を開催します。皆様こそご参加してください。

昭和43年春母校通信第39号

大阪支部

同窓会大阪支部総会

同窓関係から豪華賞品

恒例の福引に

わいた総会

とき 昭和42年12月8日18時すぎ
ところ 国鉄大阪駅北側 新阪急ホテル2階
あたりはベージュの色調で統一された大宴会場内には四百人に近い紳士、淑女が、適当に配置された十数個のテーブルをかこんで懇談中である。

と、ある一隅のグループでは……。

A この会場に集まるのも恒例になったという感じですね。

B そうですね。最終におこなわれる「福引」が、また呼びものになっていて一段とたのしみですが……。

C 間もなく発表になることでしようが、それまでは大いに飲み、大いに談じましょうや。

19時ごろ、正面一段高い舞台での原新支部長のあいさつも終り、景品福引の始まりをつける司会者の声が場内に流れる。

A まってましたアノといったところですが……。
B ほかのカードには「パンジー」と書いてありますヨ。
D そうそう、受付で箱の中からひいたカードはどこへしまったかナ。
E カードにある花の名前で景品がきまる仕組ですネ。

F 私は今年はいじめて出席したのですが、なかなか豪華景品ですナ。
C 全く、先輩諸氏のご尽力のたまものですが……。

やや興奮気味の司会者の声が一段と高く「本日一番の景品ノミニノルタカメラ一台」——拍手——がおこる。
「さくらの方、さくらの方」
B (E君に) 君と違うか?

E ああ、ばくや。
A、B、C、D、F「フーッ!」

司会者の注文でE君、校歌「風にそよぐ」をうたう。
C さすが応援団に席のあったE君ですネ。よい度胸で立派でした。
E いやア、恥ずかしいやら、うれしいやら。

A はじめて出席しそれでは……。
B ほかのように「パンティ」ならぬ「パンジ」が釘のセットとは……。
E 申しわけない。これからは毎年顔を出します。

やがて校歌斉唱、万歳三唱となり、なごりおしげに会は終わる。
三三五、連れ立って去る中に、さきほどの一団……。

D F君のお仕立券付き洋服地一着をはじめ、E君のカメラ一台等々、このグループには大物景品が数多くあつたようだが……。
B エーッと、ほかに「泉屋のクッキ」「寝々堂の日記」「クッション」「ローストチキン一羽」と豪華なものだ。

A そうだ。F君も初顔君だったナ。
F いやーッ、おかまいなく。どうぞ、おさき

へ。
C 何がおかまいなくだよ。
F すみません。おかげさまで親子三人、これで無事年が越せます。……ありがとうございました。
笑いながら去る一同。……幕。

なお、当日の福引には同窓関係各四十社から計約四百点の景品を寄贈願ひご協力いただきました。

昭和43年秋母校通信第40号

大阪支部

女性群交え三百名出席

支部会員の名簿も作る

同窓会大阪支部総会七月二十六日夕刻「スコールサントリー」で開催された。

大阪支部は昨年十二月の総会で、朝日放送原副社長が新しく支部長となり五名の副支部長、九十六名の幹事で新発足してから一回目の同窓会である。会場の「スコールサントリー」は、サントリー直営のバイキングビヤホールで、サントリーの植木枯二君(昭30文)のお世話で、当日は同窓会借切り、場所も東阪急ビル地下という地の利を得て満員であった。

午後六時、司会の蔵本順吉副支部長のあいさつにつづき、ご出席いただいた小宮院長、天野同窓会長のあいさつがあり懇親会に入った。会場は、院長、会長のほか、各学部諸先生方、同窓会本部、支部からも多数のご出席をいただき、三百名に上る盛会であった。特に女性の方々の出席が目立ったのは、牧村淳子副支部長(昭27短英)のご協力で「しおん会」から多数ご出席願えたことで、なごやかなふんいきの中にあて

やかさをそえていただきました。
なお、当日大阪支部の会員名簿作成について支部長からご協力方をお願いがありましたので、大阪支部所屬の同窓の方は事務局あて「勤務先住所、卒業年次、学部」をそえて近況をお知らせ下さい。

〈あて先〉 大阪市大淀区大淀町南二一

昭和44年秋母校通信第42号

大阪支部

支部総会は豪華なジャズ演奏

夏の会はビール・パーティー
大阪支部では昭和四十三年度最後の行事として、昨年十二月二日新阪急ホテルで恒例の総会を開催し、約三五〇人の同窓諸兄が集り、楽しい一夕を過ごした。

当日は同窓会本部をはじめ各支部同窓の方々の協力で、豪華な景品の当たる福引や、学院卒業生である小坂務君の楽団演奏など、数々のアトラクションのうちに盛会に終了した。

明けて昭和四十四年は、大学紛争に始まった感で、学院紛争は三月の入学試験にはその頂点に達し、大阪支部同窓も学院にかけつけて入学試験の無事を祈りその運営に協力した。その後ますます悪化をたどる学院紛争に対して、大阪支部では四月三日には緊急幹事を開催し、紛争の経過・現状の報告・意見交換まで、学院正常化への努力を語り合った。

七月八日夕刻、阪急百貨店で定例幹事を開催し、今年度「大阪支部夏のパーティー開催」の件を打合せ決定した。

七月二十八日夕刻「大阪支部夏の会」を、阪急百貨店八階特別食堂で開催、出席者約三〇〇名、会場は満員の盛会だった。一堂に会した同窓はビール・パーティーで夏のひとときを懇親のうちに楽しく過した。八月三日に学院の上々原キャンパスで行なわれる「昭和四十三年度卒業証書授与式」さらにつづいて行なわれる「同窓会全国大会」の成功を祈り、校歌・讃美歌を斉唱して午後八時閉会した。

昭和46年春母校通信第45号

大阪支部

関学各支部の同窓生の皆様お元気ですか。何となく春のなごやかさが感じられる昨今となつ

年を経て学院は百周年の日を迎える。学院に係するすべての者が大きな喜びをもってこの日を待つよう努めたものである」と学院の遠大な抱負を述べられ、会場の大拍手を集めた。
そのあと、天野会長の祝辞、副支部長五人の紹介について、矢内理事長発声による乾杯で、一同、元気にビールの満を引く。当日のアトラクションは大阪YMCA、田中、藤田両氏による奇術の数々、その妙技に感心しながら、ワイワイ、ガヤガヤ、交歓を重ねた。
七時四十分散会、参会者は二百七十名であった。この次は十一月の支部総会である。

米田 満記

昭和48年春母校通信第49号

豪華絢爛たる

大阪支部総会

日付……昭和四十七年十二月八日(金)午後六時〜八時
場所……新阪急ホテル「紫の間」
大阪支部恒例の冬の総会、会員の皆様が希望の大福引。年に二度の大阪在住の同窓が一堂に会して、老若男女をとわず打興じ、旧交を温められ「関学」色に熱気を帯びる有様は、同窓会ならではの感がいたします。

美しい母校愛によつてのみ相寄る大阪支部のつどいは、真の君子の交りであり、お互にまことの「朋(とも)」をえたものであると思えます。お集りの方々を見ますと、大分頭の薄くなつた方もあり、白いものの交つて来た方、又、見るからに、さぞ良いパパ、良いママになられたであろうと思われる方々が、定刻前には陸続と相寄つて、なつかしい学生時代の思い出話に花が咲いています。定刻六時十五分会場「紫の間」から流れる林那嘉子女史(昭和三十三年大学院修)の演奏によるエレクトーンの荘厳華麗な音とともに一同入場。

蔵本順吉副支部長の司会で開会。次いで藤田弥一郎大阪支部長の挨拶となり、力強く学院発展のためには地元大阪在住の同窓の大いなる勢

てまいりました。

さて当支部の近況をお知らせいたします。昨年度は夏期総会として、大阪阪急百貨店にてビールパーティー(新同窓生歓迎)を行ないました。が、ハモンドオルガンの演奏を加えるという従来とはやや異なった趣向を組み入れたこともあり、大変皆様方に喜ばれたようです。参加員は約二五〇名でありました。一方冬期総会は夏の総会の効果もあり、又会員の皆様方のご協力に依り更に盛大裡に行なうことが出来、私共世話役といまして非常に嬉しく思つた次第です。昨年度の締めくくりとなるこの総会は十二月八日、大阪新阪急ホテルにて約三六〇名の会員の方々のご参加のもと「関学アメリカ民謡同好会」(ウェスタンバンド)の諸君の応援演奏、又恒例の福引行事も組み入れ、わずか二時間半の短時間ではありましたが、旧交を温めるに充分なる内容とすることが出来ました。このように昨年度の二回の総会がまずまずの結果とすることが出来したのは、本部の方々、先輩の方々、幹事の方々のご助力は勿論ですが、当大阪支部の方々のご協力の賜であると信じ本紙を拝借してお礼を申し上げます。又この総会の他に支部活動といたしましては「副支部長会」(五名)「幹事会」(約一三〇名)及び広域支部というこ

とで、大阪市内各街区毎のミニ支部の集り等随時行なつております。
まもなく新しい同窓生が誕生し当支部の会員となる方もたくさんおられるようですので、今回は今から何とか彼等の為心のこもつた歓迎を行いたく真剣に考えている次第でございます。

以上

関西学院同窓会大阪支部事務局

昭和47年春母校通信第47号

新支部長を迎えて

大阪支部

昭和四十六年十二月八日午後六時より新阪急ホテル大広間において、定期総会が開催された。毎年恒例の、この総会には会員待望の大集会で、

力の結果こそ先決であると述べられ、同窓諸兄の母校愛精神を強調された。次で来賓代表として小寺学長の祝辞を頂く。平穏な学院の近況を報告され、矢内理事長の乾杯の音頭により懇親会の開宴となる。

当日来賓として学院から小寺学長外十二名、同窓会から小原専務理事(天野会長病氣のため欠席)釜田京滋支部長、伊藤西宮支部長、泉大阪南関学会会長、朝長大阪支部顧問ら多数の方々がご参会になった。

サントリースケの、ご寄贈によるビールで十分に飲み食い、語り合い、喜びと懐かしさで特をぬいだ盛衰となつたところで大福引に移る。今年には抽せんが、相撲のシコ名で横綱、大関を初め有力力士の名入カードで豪華な賞品が、次から次へと当り全員洩れなくお持ち帰り願つた。加藤秀次郎元院長の万歳三唱のあと、山田重迪大阪副支部長の閉会のことばによつて散会となり、和気藹々のうちに再会を約し、思い出深い学院生活を語りつつ、一同家路につく。時に八時二十分、参会者は約四五〇名。

蔵本順吉記

昭和48年秋母校通信第50号

大阪支部

銷夏ビール・パーティー

一、開会のことば 蔵本副支部長

一、支部長挨拶 藤田支部長

一、来賓祝辞

一、来賓紹介

一、祝電披露

一、開宴

ミニージャック

奇術

一、校歌合唱

一、万歳三唱

一、閉会のことば 山田副支部長

夏のビール・パーティーを八月二十七日(月)大阪梅田阪神百貨店七階グリーン・ルームに於いて盛況裡に開催。

定刻一時間前から多数の同窓がロビーにつめかけ、ヤァヤァと楽しく挨拶がかわされて、旧交を暖め、話に花が咲く。定刻六時、会場一杯の盛況で、関学色四面に漲る。

校歌「風に思う」の音楽と共に開幕。

蔵本副支部長の閉会の挨拶、次いで、阪田支部長並びに藤田新支部長の挨拶が行なわれ、華々しく全員拍手裡に支部長交替の場面が展開された。

来賓祝辞には小寺大学長、天野同窓会会長、大松博文参議院議員がこもこも熱弁を振り、大阪支部の発展を祝われてパーティーに入る。

沢田同窓会副会長の乾杯により賑やかに酒盃が傾けられ、老若男女入り交つて飲むほどに、食うほどに、同窓会ならではの雰囲気、正に最高潮となるにつれ、本日の呼び物「福引大会」と移る。蔵本副支部長司会でなごやかに進められ、全員洩れなく賞品があたり、カメラ、電気製品、カーペット等々目玉賞品が若い同窓生に引きあてられ、爆笑のうちに総会は終る。時に八時二十分。

当日参会者四〇〇名
昭和47年度大阪支部
新役員決る

藤田支部長の下に大阪支部新役員人事が一月中に決定し、幹事には就任依頼状を発送、二月七日新副支部長を新阪急ホテルに招集、初の懇談会を持ち、それぞれの任務役割を決め、三月十三日(月)午後六時より阪神百貨店七階特別室で第一回幹事を開催。今後の支部運営について話し合いを行なった。

新役員

支部長 藤田弥一郎(昭9年卒)
副支部長 蔵本 順吉(昭10年卒)
同 山田 重迪(昭13年卒)
三宮 清一(昭26年卒)
米田 満(昭26年卒)
牧村 淳子(昭27年卒)

幹事 約八〇名
大阪支部幹部が

本日は、恒例の楽しい夏のパーティー、ことに天候にも恵まれ久方ぶりのこととて会員皆様のお顔も晴ればれしく喜びに溢れているように見受けられお顔なじみの方々が、今日が待ちきれなかったよう早くからつめかけられた。また、最近卒業されたと思われる若い人々も多数参加され、母校を懐しんだ会話が賑やかにかわされ、図書館の大時計、校庭をとりまく桜の樹々、無邪気に跳ね廻つた若き日の思い出を、白髪先の先輩達もさきも昨今の出来事のことく楽しく語らい合つて旧情を温め、我が生涯の最も楽しい一夕であるかの如く振舞われている場面が諸所に展開されていた。母校を愛する者同志の集りでなければ味えない雰囲気でありました。

定刻前から陸続とつめかけられ、正に立錫の余地なく大入りで盛りたくさんに飾られた料理、ビール。会場の雰囲気は愈々盛り上つてきた所で、六時二十分、蔵本副支部長の閉会の挨拶によつて幕は開かれた。次いで藤田支部長の挨拶となり社会に出られた同窓の誼みがどんなに深い縁のものであるか、お互が未知の間柄でも母校のことを話し合つただけで百年の知己を得ることも容易でありお互が助け合い励まし合つて人生を切り拓いて行かねばなりませんと力強く挨拶され、来賓の祝辞に移る。

城崎学長代理(小寺学長は要務のため出張欠席)は学院の現状を述べられ、沢田同窓会長並びに天野名誉会長交々として今春の定時総会にて役員改選の結果新会長名誉会長を引受けられた挨拶があった。
次いで来賓の紹介を行なう。
玉林文学部教授
町永財務部長事務取扱
勝本理学部長
(同窓会関係)
天野同窓会名誉会長
沢田同窓会会長
釜田京滋支部長
伊藤西宮副支部長
沖野西宮幹事長

J・C例会に来賓として出席
大阪青年商工会議所議員中には、関学卒業生が一〇〇名以上も議席を占め、J・C関学会として連繋をとっているが、今回三月例会を開催するに当り、同窓会大阪支部の幹部を来賓として招待、学院の現状並に同窓会大阪支部の運営活動状況について意見の交換をなし、相共に学院発展のため協力することになった。
日時 三月九日午後五時より
場所 ロイヤルホテル
同窓会出席者
沢田顧問、原顧問
藤田支部長、蔵本、山田、三宮、米田、牧村各副支部長

昭和47年秋母校通信第48号

学院発展のために

大阪支部

大阪支部恒例の「夏のビール・パーティー」は八月二十一日、午後六時から大阪梅田阪神百貨店七階グリーン・ルームで行なわれた。折からの小雨で多少出足は鈍かったが、それでも二十分もすると二百名を越える同窓が集まつて来た。

蔵本順吉副支部長の司会で六時二十分開会、冒頭、藤田弥一郎支部長が立つて、「大阪支部会員は同窓の36%を占める。もちろん、同窓会の中の最大の支部である。この大きな勢力を学院発展のために結集しよう」と力強く呼びかけられた。現在、大阪支部の会員は一万六千名、大阪中の各地域、各職域に広く分布して活躍している。どこへ行つても同窓がいるので有難いこととす。とは、つねに耳にするところである。

当日、来賓として学院から矢内理事長、小寺学長、定平総務部長、田中秘書室長、柄教育振興会事務局長、松尾秘書室主任、同窓会から天野会長、小原専務理事、また京滋支部から釜田支部長、西宮支部から伊藤副支部長ら、多数の方々がご参集になった。小寺学長は「あと十数

古城大阪支部顧問
朝永 〃 〃
橘 〃 〃

以上

紹介ごとに万雷の拍手がわき、東京、神戸両支部よりの祝電を披露して開宴に入る。釜田京滋支部長発声による乾杯で、一同元気にビールの満を引く。当日のアトラクションは昨年引き続き、大阪YMCA田中さん一行三名、奇術の数々をあますところなく披露され、その妙技に感心しながらオーオーと杯を重ねた。

菅沼先輩の指揮により、校歌合唱、宮崎後輩のエール、玉林先生の音頭で大阪支部万歳を唱え、山田副支部長の閉会のことばにより閉会。時に、正に八時、参加者三〇〇名であった。(大阪支部事務局記)

昭和49年春母校通信第51号

大阪支部

新旧支部長交替

華々しい冬の総会
日時 昭和48年12月10日(月)午後5時〜8時
場所 新阪急ホテル「紫の間」
会費 二千五百円
式次第

一、開会の辞 蔵本副支部長
一、支部長挨拶 藤田支部長
一、来賓祝辞
一、天野利三郎支部顧問 表彰
一、次期支部長紹介
一、祝電披露
一、開宴
一、グリー・クラブ合唱
一、大福引
一、校歌合唱
一、万歳三唱
一、閉会

大阪支部同窓待望の冬の総会が新阪急ホテル紫の間の大広間で歓喜絢爛の内に開幕
場内には軽音楽のリズムが流れ、やわらかな

ムードの中で同窓互に久闊の挨拶がとりかわさ
れている。定刻午後六時には、大広間立錫の余
地もない程つめかけられ、熱気を帯びてきた。
六時十五分、蔵本副支部長の熱弁あふる開会
のことばによって開幕、次いで藤田支部長の挨
拶、十月以来の石油危機による非常時の、日本
の現状と今後の同窓会について過去二年間在住
中の感想を交え詳細に述べられ、参会者一同に
感銘を与えた。次で来賓祝辞として玉林院長事
務取扱と沢田同窓会々長により学院の近況が報
告され大阪支部の隆盛が祝福された。

来賓一人一人の紹介を拍手をもって迎え益々
賑やかな雰囲気となる。

天野同窓会名誉会長に対して支部創設以来の
功労をねぎらう意味において支部最高顧問の称
号をもって過し藤田支部長より金メダルを贈呈
し、全員の万雷の拍手により感謝の意を表した。
次いで新旧支部長の交替が宣せられ、藤田支
部長より山田新支部長を紹介、倍旧のご支援ご
協力をお願いした。

神戸支部長、西宮支部長よりの祝電を披露、
田村東京支部長の音頭により乾杯を行い、開宴
に入る。林雄一郎指揮によるグリー・クラブの
大合唱が始められ、グリー世界一の賞録と醍醐
味を満喫しつつ、大いに飲み語り合い楽しい一
夕を過ごすことが出来た。宴半ば大松参議院議員
来る。全国いづこの同窓会よりも心のふれ合い
を感じるものは関学同窓会であると激励の挨拶
のあつた後、待望の大福引披露に移る。

本年は紅白歌合戦にちなんで、有名歌手の発
表ごとに褒台、テレビ、カメラ、電器コタツ、
カーペット等豪華賞品が続々とあたり全員洩
れなく景品が渡され、広い会場に歓声、拍手が
沸き上りいやが上にも熱気を帯びて関学同窓会
ならではの感を深くし、和気藹々の内に楽しい
夕べを過ごすことが出来た。

最後に校歌、讃美歌合唱となり、加藤秀次郎
先生の発声で万歳三唱され閉会となった。
時は正に午後八時廿分、参会者五百余名互に
再会を約し、惜別の想いを胸にして散会。

大阪支部

昭和49年度新編成なる
支部長 山田重迪（ホテル阪神）
副支部長 蔵本順吉（和泉電気）
同 梶谷道夫（大和銀行）
同 米田 満（関学大教授）
同 北山公資（樹星光）
同 赤松淑子（蔵本順吉記）

昭和50年春母校通信第53号

大歓声の裡に

大阪支部総会

昭和49年度大阪支部総会は、昨年12月16日午
後六時から、新阪急ホテル大広間において盛大
に開催された。集る同窓とその家族四八〇名、
山田重迪支部長のあいさつ、沢田同窓会長、久
山理事長・院長、西治大学長の祝辞あつて開会
約二時間、恒例の福引を蔵本副支部長のユーモ
ア溢れるリードで終るまで、全員歓声のるつば
の中にいるよう。天野同窓会名誉会長の発声で
万歳三唱、校歌讃美歌の斉唱で幕を閉じた。毎
年、夏にはビールパーティー、冬には締めくく
りの総会を開いていますからどしどし参加して
下さい。

昭和51年秋母校通信第56号

大阪支部より

予想以上の多数の参加、盛大の裡にビヤ・パ
ーティー開催！！

昭和五十一年度大阪支部主催の恒例のビヤ・
パーティーは去る八月二十日（金）、心配された
空模様も朝から快晴に恵まれ、緑の樹木に囲ま
れ、夕陽迫る堂島の一角、サントリー会館の屋
上にて開かれた。

午後六時開場前より続々と会員諸氏の顔が見
え、開会定刻六時三十分には、既に三〇〇余名
を越え出足好調、主催者側として新に感激の至
り、先ず、大西副支部長の司会に依り、開会の
幕が切つて降され、蔵本副支部長の開会の言葉、

大阪新支部長としての挨拶は、野田支部長急病
欠席のため、急速代行として松崎副支部長がス
テージに立つて挨拶、お招き申し上げた来賓代
表として、久山理事長、院長、沢田同窓会会長
の祝辞を賜り、その後来賓の学校側の諸先生、
並に、睦谷姫路支部長、虎野泉州支部長の紹介
披露がありました。

続いて、故藤田前大阪支部長の急逝に伴い、
故人を偲んで追悼、参加全員と共に厳肅なる気
持を以て黙祷を捧げる。替つてステージでは、
新に卒業された新会員の紹介あり、全員拍手を
もって歓迎の意を表す。

愈々開宴、乾杯の時には、さすが広い会場も
次から次へと詰めかけた会員も約四〇〇名近く、
立錫の余地もなく大盛況、ステージでは関学大
軽音楽部の奏でるソフトな音楽、当日、飛入り
特別出演のグリー新月会有志の美しいハーモニ
ーが一層会場の雰囲気盛り上げてくれました。
パーティーが進行するにつれて今日の為、特
別にサントリー会場よりご配慮、ご寄贈賜りま
した豪華な景品の数々を目の前に見てお楽しみ
抽せん会に移り、特別賞（東芝餅子）を全員
の歓声の中、平野修（昭18法文卒）先輩が見事、
その金的を射止められ目録の贈呈があり、パー
ティーも愈々終末近くなり、菅沼先輩の音頭
で先輩、後輩、共々全参加者円陣をつくり肩を
組んで校歌斉唱、事務局の矢野元応援団長のリ
ードで応援歌合唱、讃美歌四〇五番「また会
日まで」を歌い、梶谷副支部長の閉会の辞にて
「本年度大阪支部総会を十二月十七日（金）、新
阪急ホテルにて開催」の旨報告あり、サントリ
ー寄贈の参加賞をお土産に再会を約し、各自九
時頃家路についた。

事務局（江南春夫）記

恒例の福引きはやはりたのしく一同の期待で
もある。親しい交わりはつきないが讃美歌四〇
五番「神とともにいまして」を一同斉唱、力強
く校歌を歌つた後、学院のため同窓会のため沢
田会長、久山院長の万歳三唱があり、梶谷副支
部長の閉会の辞をもって八時過ぎ散会した。ま
た会う日までさようなら。

ご協力下さった方々に心から御礼申し上げます
事務局 江南 英子

支部長に就任して

大阪支部長 荒木 秀雄

今回はからずも大阪支部長に就任することに
なりました。その任でないと再々お断りいたし
ておりましたが、先輩はじめ練達の同窓各位の
助けてやるからやれとの温かいお言葉もあり、
その責任を果たすことがいささかなりとも母校の
ためになればと就任させていただいた次第であ
ります。

大阪支部の会員数は五万人或はそれ以上とも
いわれ、更に毎年の新卒業生約三千人の内三分
の一ぐらが増加すると思われるマンモス支部
であります。このような大阪支部の運営、行事
に一人でも多くの会員諸兄の関心と協力を得ら
れるように運営して行くにはどうすれば良いの
かと思ひますと、これは実にむづかしいことで
あります。戦後から今日まで大阪支部の発展に
貢献してこられた多くの先輩や同期生並に後輩
諸君のお話しやご意見を聞くにつけ、又一方増
加しつつける会員数を考えると、今迄の運営
方法では事務局の業務負担に無理を生じ到底円
滑な運営は期し得ないと思ひます。事務局の負
担を軽減するためには支部の幹部各位に業務を
分担していただく外はないと考えまして、先輩
並に新幹部の方々と相談の上、今後の組織運営
の一部を改めることといたしました。

支部長代理一名を新しく設け、従来の副支部
長は必要に応じて増員し、各副支部長単位に常
任幹事若干名と幹事を加えて、これを一つのグ
ループとして副支部長に掌握していただきたい
と思ひています。支部長、支部長代理、副支部

昭和52年春母校通信第57号

北から南から 支部だより

大阪支部だより

大阪支部総会は十二月十七日、金曜日、午後
六時、新阪急ホテル二階紫の間にて開かれた。
夏のビールパーティーで見た顔々、久しく見な
かつた顔々が続々とあらわれロビーで親しく交
わつておられた。

司会は上野正雄氏、大西広太郎副支部長、ま
ず支部長豊田豊太郎氏のご挨拶につづいて、久
山康院長、久保芳和学長、松崎滋雄副支部長、
それぞれの挨拶があつた。本年度永眠者のため
の黙祷を捧げ、食前の感謝の祈りは三十四年神
学部卒業千里山教会の森大牧師がして下さつた。
天野利三郎名誉会長の乾杯により一同十六のテ
ーブルに並べられたごちそうに一斉に手をつけ
た。

出席者数三百二十名。男性多数の中に女性の
姿がチラホラあつた事は嬉しい。舞台横にヤマ
ハポプスの奏でる軽音楽、四人の若い女性に
よる運勢判断コーナーも設けられ、この会の雰
囲気をたのしくしていた。

恒例の福引は、広瀬達夫氏はじめ会社、諸氏
のご厚志によりたくさんのお寄贈品があり、輪島
北の湖、若杉など現役力士の名を拝借、出席
者一同に贈られた。万年青年蔵本順吉氏の演出
は毎回の大役ながら見事なものである。現役応
援団八名の力強いエールがあり、梶谷道夫副支
部長の閉会の挨拶、野田豊太郎氏による万歳三
唱の後、さんびかを斉唱、再会を約して閉会し
た。

学院は創立百周年を目指して取組むべき課題
がいくつもあるようだ。「神の栄光のため」と、
ランパス先生によって創立された学院で学んだ
人たちは学窓を出たあとの交わりこそ意義ある
ものではないだろうか。同窓会の発展はまこと
に嬉しい。

生きて行くためのきびしい毎日の中にあつて
気持の余裕を持ち奉仕させて頂くことこそ人間
にとつての眞の喜びである。そして受ける恵み

場所 新阪急ホテル2F紫の間 電話（〇六）
三七二一五〇一

会費 四〇〇〇円（会員券）

大阪支部の総会は毎年一回、十二月上旬に開
催致しております。総会には学院より久山院長、
小寺学長その他諸先生方及び幹部職員、同窓会
本部の役員、近隣各支部より多数のお客様を迎
え、盛大に開催したいと思ひています。

新阪急ホテルにおいても2F紫の間の大改装
工事が行われ、会場坪数も約二〇坪増加し収容
人員も一段と多くなりました。

総会にお一人で始めてご出席の方も懐しい友
と巡り会い、きつと楽しい一時を過せることで
しょう。

各職場の弦月会の諸君、各グループの諸君も
お誘い合せの上、賑々しくご参加下さいませよ
うに。

会員券は、きたる十一月初めから各副支部長、
常任幹事・幹事を通じて販売致します。直接後
記事務局に申し出て頂いても結構です。当日売
りも若干用意しております。

(二)大阪支部月例進食会について（曾根崎関西学
院倶楽部）

毎月三日正午より午後一時すぎまで（ただし
土曜・日曜・祭日の場合には繰下げ）進食費、
各自負担。

大阪支部では去る三月より月例進食会を毎月
行っております。昼食のひと時、諸連絡に諸情
報交換に、自由に食事をしながら歓談しており
ます。各会員諸兄のご参加をお待ち申し上げて
おります。

お問い合わせは、左記事務局へ
541大阪東区北浜三ノ四一
幀日本文化会館事務局

電話（〇六）二二二一七二七五

大矢六郎宛（事務局記）

昭和55年秋母校通信第64号

大阪支部だより

は金銭では図り知れないものである。

新阪急ホテル食堂部長杉本茂雄氏には特にお
世話になった。この会進行のため多くの方々が
協力して下さい。紙面の都合でお名前は記さ
ないが神の愛が一人一人にある事を信じて感謝
申し上げます。

「また会う日まで」同窓会の皆さん さよう
なら

大阪支部事務局江南英子

昭和53年春母校通信第59号

五十二年度大阪支部総会は十二月八日（木）午
後六時、五十一年度と同じく新阪急ホテル二階
「紫の間」にて開かれた。出席総数二百五十名。
昨年をやや上回った。

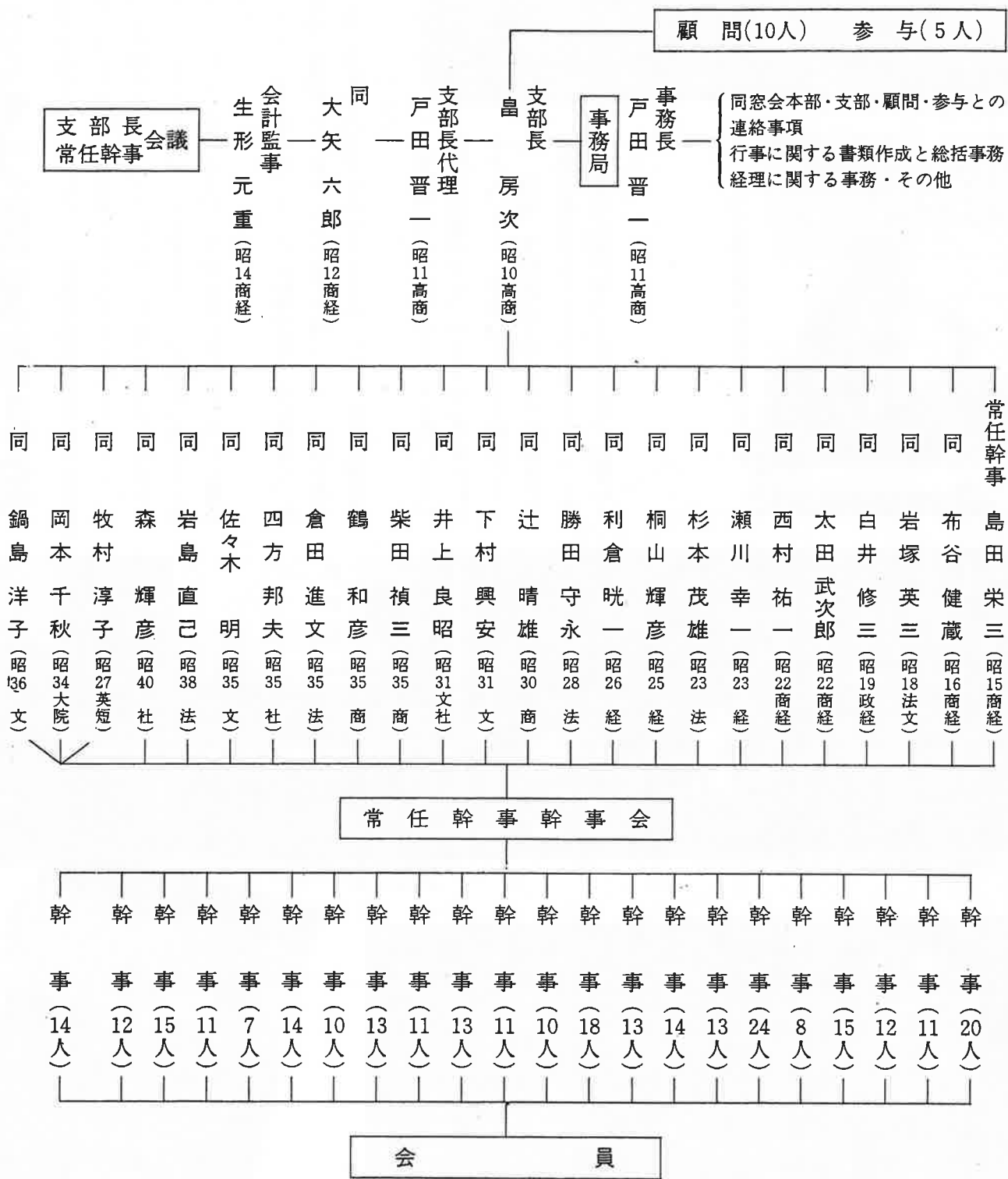
野田大阪支部長がご在任中に亡くなられたの
で、蔵本支部長代行指導のもと、事務局一同こ
の日のために全力を傾倒した。

まず第一部。司会は大西副支部長、開会の辞
は松崎副支部長。本年度の会員永眠者のため一
同黙祷を捧げた。蔵本支部長代行、来年度の新
支部長阪急電鉄の荒木専務（昭和十二年商経）
の挨拶があつた。沢田同窓会会長、久山理事長、
院長、久保学長がそれぞれ近況報告と抱負を語
られた。

第二部の司会は上野正雄氏。感謝の祈りが千
里山基督教教会森牧師によつて捧げられ、天野名
誉会長の発声により一同乾杯、開宴された。ホ
テル食堂部長杉本茂雄氏のご配慮ゆたかな各テ
ーブルは目を見張るばかりであつた。会場右側
には学院文化部の美しい女性たち四名による占
いコーナーが設けられ、グリークラブOB新月
会のコーラスが紫の間のこの会の雰囲気をもり
上げて下さった。

関西学院同窓会が毎年このように盛会である
のは多くの先輩諸氏のご奉仕の結晶である。学
院を創立されたランパス先生の神への祈りの御
態度が今なお神にあつて受け継がれている事と
思う。同窓生であるが故に参加できる喜びは本
当に嬉しい。

大阪支部組織表



支部長 畠 房次 〒537 大阪市東成区東今里3-9-17 金星工業(株) T E L (06)974-7700

事務局 〒545 大阪市阿倍野区昭和町 3-1-64

関西学院同窓会大阪支部 TEL(06)621-0805~0806

支部長代理・事務長 戸田晋一

支部長代理 大矢六郎 〒541 大阪市東区北浜3-41 (株)日本文化会館 TEL(06)231-7275

関西学院同窓会大阪支部 歴代支部長一覧

年 次	氏 名	卒業年次と学部	メ モ〔 〕は事務局などお世話になった人
初 代	故森 田 歳 一	大正6年(高商)	昭和22年発足 〔天野産業株式会社でお世話になる〕 〔森川友次〕
二 代	故早川富之助	大正11年(高商)	
三 代	故粟生鹿之助	大正9年(高商)	
四 代	故吉城貫一郎	大正10年(高商)	
五 代	故水 谷 勢 二	昭和2年(高商)	S.29～ S.34 〔長谷川満(大阪ガス)〕
六 代	故沢田修太郎	昭和4年(高商)	S.35～ S.36 〔岩佐道雄〕
七 代	故朝 長 正 男	大正11年(高商)	S.37～ S.38 〔尾上蓉三〕
八 代	橘 真 琴	昭和3年(高商)	S.39 〔永井敬造(南海印刷)〕
九 代	広 瀬 満 直	昭和2年(高商)	S.40～ S.41 〔工藤 裕〕
十 代	原 清	昭和5年(高商)	S.42～ S.44 〔坪田通幹〕〔朝日放送秘書室〕
十一代	阪 田 一 夫	昭和14年(商経)	S.45～ S.46 〔阪田商会〕
十二代	故藤田彌一郎	昭和9年(高商)	S.47～ S.48 〔蔵本順吉〕
十三代	山 田 重 迪	昭和13年(商経)	S.49～ S.50 〔ホテル阪神〕〔蔵本順吉〕
十四代	故野田豊太郎	昭和9年(高商)	S.51～ S.52 〔支部長死去支部長代行 蔵本順吉〕〔江南春夫〕
十五代	荒 木 秀 雄	昭和12年(商経)	S.53～ S.54 〔戸田晋一、大矢六郎〕
十六代	木 村 正 春	昭和13年(法文)	S.55～ S.56、S.57～ S.58、S.59～ S.60 〔戸田晋一、大矢六郎〕
十七代	畠 房 次	昭和10年(高商)	S.61～ 〔戸田晋一、大矢六郎〕

目で見る大阪支部40年

目で見ると大阪支部40年の歩みのために、大阪支部創立当時の支部関係の写真を捜しましたが、残念ながら手に入りませんでした。支部創立当時の終戦直後では、フィルムなどの感光材料は新聞社さえも配給制でした。何とかしてフィルムを手に入れ、支部の行事などを撮影したものが残っていると思いますが、何分40年もの前ですから捜しようがありません。

先輩に捜してもらいましたが出て来たのは昭和30年ごろの写真で、挨拶する水谷支部長の名前だけはわかってはいますが残っている記録を調べても、何日、何処で撮影されたかはわかりませんでした。当時は毎月支部の例会を開いていたからです。

撮影者に直接聞けばわかると思いますが、撮影者は誰れかも、いまとなってはわかりません。そこで写真はそのまま掲載しました。結局、支部創立当時から十年間ほどの記録写真は手に入りませんでした。ごく最近のものは皆が知っていますので割愛しました。



●文化祭（昭和30年12月／フェスティバル・ホール）



●あいさつする水谷支部長（昭和29年・昭和34年）
※日時・場所不明



●アウトブリンチン院長送別会（昭和31年6月23日／宝塚ホテル）



●大阪支部総会来賓受付（昭和31年12月）



●支部総会（昭和34年12月8日／大成閣）



●大阪支部総会 — 昭和34年 — （大成閣）



●あいさつする沢田修太郎支部長（昭和35年12月7日／東天閣）



●昭和37年度 関西学院同窓会大阪支部総会



●昭和37年度 関西学院同窓会大阪支部総会



●新会員歓迎大会プログラム（昭和37年か38年）



●同窓会新入会員歓迎パーティー会場（昭和37年6月1日）



●昭和37年度大阪支部総会（南御堂会館）



●サンタクロースは蔵本順吉氏（昭和37年度支部総会／南御堂会館）



●同会の福引風景（昭和42年12月）



●支部長就任の朝日放送原会長（昭和42年12月）



●同会で挨拶する天野会長（昭和42年12月）



●総会にて司会する蔵本氏（昭和42年12月8日）



●天野利三郎氏叙勲祝賀会—勲四等瑞宝章—(昭和46年5月29日/新阪急ホテル)



●応援団の力強いエール(昭和51年12月17日総会/新阪急ホテル)



●昭和51年支部総会(昭和51年12月17日/新阪急ホテル)



●支部総会で山室局長の「国際社会と日本」の講演があった。
(昭和60年12月5日)

●記念品を贈られた木村前支部長
(昭和60年12月5日/新阪急ホテル)

●福引司会する程一彦氏
(昭和60年12月5日/新阪急ホテル)



●支部総会の宴会。よく食べ、よく飲みました。(昭和60年12月5日)

●あいさつする蔵本氏
(昭和43年12月2日支部総会)

大阪支部総会(昭和43年12月2日)



●大阪支部総会
(昭和43年12月2日)



大阪支部総会(昭和43年12月2日)



●大阪支部総会(昭和43年12月2日)



●大阪支部総会(昭和43年12月2日)



●あいさつする藤田彌一郎支部長(昭和47-48年、新阪急ホテルにて) ※日時是不明



●支部長交替—原支部長から阪田支部長へ—
(昭和44年12月8日/ホテルプラザ)

同窓会大阪支部の生いたち

——ひとつの記録として——

菅沼 安人

終戦後、同窓会の再建に努力されていた当時の同窓会副幹事長、現名誉会長の天野さんは先ず大阪支部の設立に心を砕いておられた。私はあちこち心当りの同窓と連絡をとって、創立総会発足に奔走した。天野さん等と当時梅田新道西南角にあった喫茶店「立山」のうす暗い電燈の下での準備委員会や、その時分江商の大阪支店長をしておられた朝長先輩を心齋橋「大丸」の荒れ果てた建物にお訪ねしたところなど、妙に鮮かに思い出されてくる。その日、会場の朝日ビル「アラスカ」はオーバーの襟を立てた会員で一杯となり、熱気溢れる集会でほっとしたことを覚えている。昭和22年も押し詰った12月20日の寒い日であった。私の司会で開会、議長を朝日会館長であった十河巖氏にお願いし（会場難のあの時代「アラスカ」も同氏のお世話になった。）恙なく大阪の支部は誕生した。最後に挨拶に立たれた朝長さんの「我等の時代来たる！」の大熱弁は今でも忘れることができない。

かくて初代支部長は高商部第2回卒業の森田歳一先輩に

就任を願ひ、第一回大阪支部総会は23年に北浜の「清風俱樂部」で開催、支部総会の皮切りとして大いに氣勢が上がったことを覚えている。

第2代早川支部長、第3代栗生支部長の時代は主として「北大阪ホテル」が本拠地として使用されていたように思う。ようやく第4代吉城支部長の時代に、懸案の大阪KG倶楽部を文楽座の食堂に間借りして、食堂が廃業される迄設営され、しばしの夢を果した時代があった。第5代水谷支部長の時代は今日の大阪支部の基礎を築かれた時代であり、実に6年間の永きにわたって盡瘁された。特に例年の十二月総会の福引を大阪支部の名物に育てあげられたこと、或年の支部総会を「クラブ関西」で開催、園遊会形式で盛大を極めたことなど華かな時期とも云えようか。また中央公会堂の地下食堂の支部例会に、パージが解けて政界復帰された河上丈太郎先生を迎え、盛大な激励会を催したのもその初期の頃であつたと思う。

第6代澤田支部長の時代には、職域単位の名簿を作成し



田新道同和ビルの支部例会に同氏を連れてこられ、一席和尚が毒舌をぶつたことがあつた。それが氏と同窓会との繋りとなつたように思えるのである。

またこの時代の特筆すべきことに、大阪支部主唱による同窓会主催、学院後援の「経営セミナー」の開催がある。第一回は38年7月20日、開館早々の東区伏見町「薬業クラブ・ホール」で開催、満員の盛況で発足した。講師は吉城貫一郎氏、「新商法と会社決算」であつた。以後「新しい時代の資金管理」、「流通機構の動向と企業の立場」、「企業会計と企業診断」等々、同窓、学院教授を講師とする同窓会セミナーが8回迄開催されたと思う。学院・同窓会・支部を繋ぐ実に画期的な注目すべき行事であつた。

第10代原支部長の昭和44年、例の大学紛争が勃発、学院は未曾有の危機に直面した。当時支部幹事を中心とする紛争收拾への涙ぐましい同窓の応援は、今なお記憶に新しいところである。

以上思い出は尽きないが、紙数の制限もあり擲筆する。

（昭和50年8月）

（昭和9年高商卒）

第7代朝長支部長の時代に御堂会館に今東光氏を講師とする支部総会を開催し、非常な盛会を極めたことがあつた。今東光氏と云えば、神崎先生が帝塚山短大学長の時代に梅

随想

大阪支部創立四十年

あのころ、 そのころ



人生最良の年

橘 真琴

今から三十年も昔のことである。目を閉じれば、今でも鮮やかに甦ってくるのは、私が南海ホークス球団を引受けて三年目、鶴岡監督の好采配のもと、昭和三十四年の日本シリーズで、過去四戦して勝てなかった巨人に、杉浦投手をもって、ストレート勝ちを収め、「日本一」の念願をはたして、ファンの夢であった御堂筋パレードが行われたこと。

その五年後、昭和三十九年の日本シリーズで、阪神と史上初の大阪同士の対戦となり、第七戦までしのぎを削った末、スタンカ投手の力投で二度目の栄冠を勝ちとったこと。等、ついこのあいだのことのように思い出される。

丁度その頃天野、朝長、両先輩の懇請で、二年間の条件で、大所帯の同窓会大阪支部を引受けさせられた。その関係もあって、年中行事の一つである総会での名物、福引も、大量の選手サインボールや、優勝トロフィーの提供で、人氣を博し、揚げ句の果、大阪球場へホークス応援かたがたナイター見物にまで発展した。この

修太郎、朝長正男諸先輩による支部長時代で、会場も中央公会堂、或は堂ビルの地下食堂、後に阪急百貨店八階食堂で催された記憶があります。終戦後物資も余り豊かでなかった時期でもあり、酒、ビール等の飲物も食卓には出なかった時もあったように思います。澤田支部長の時でしたか、会員相互の親睦、交歓を兼ね、デパートの屋上でビールパーティーが催された事も思い出の一つです。

又支部総会の席上、阪口善之助、豊田正蔵、杉本治諸氏の相も変わらぬ活発な意見の発言のあった事も今は亡き故人の面影が偲ばれます。我が大阪支部も臯支部長を始め、戸田支部長代理（兼事務局長）、大矢支部長代理及び有為なる幹事各位の確固たる組織網整備の下、年々会員も増え最大の支部として誇り得るのも誠に喜ばしい事です。私もその一員として毎年の総会にはほとんど出席させてもらっているつもりです。殊に毎年行われた福引（空くじなし）では蔵本顧問の名司会により、歓喜に満ちた会場の雰囲気を一身上に集める熱演には時の過ぎるのを忘れさせられ、又菅沼顧問の指揮による校歌「空の翼」斉唱を以って閉会する光景は私には今もって名残がつきぬ思いがします。終りに大阪支部発展と会員各位のご多幸を祈ります。

（昭和8年高商卒）



朝長支部長のころ

木村 幸次

朝長支部長は澤田前支部長に続いて、会員名簿の各種分類による整備と、支部組織化に努

ようにして学院内外のご後援を得て、ファン獲得に大いに貢献、面目をほどこしたことは、今もって忘れ得ぬ思い出の一つである。

お札や感謝のつもりで、難波から貸切バスで、淡輪のみさき公園にご案内した。丁度読売新聞社主催の魔法の祭典開催中で、お子さま連れのご家族に、大いに楽しい一日を満喫して貰った懐かしい思い出など、数ある中で、特に印象に残るもの一つ二つを取りあげたが、大阪支部四十年史に、お役に立てば無上の幸せである。

当時献身的なご協力をいただいた方々もほとんど他界、僅かにご健在の蔵本、菅沼両氏を残すのみとなり、淋しい限りである。改めて両氏に心より謝意を表する次第である。これも「あのころ、そのころ」の思い出の一コマである。

（昭和3年高商卒）



あの友、この友

原 清

敗戦後四十年、学院同窓会大阪支部創立四十年、だから悲喜交々の思い出はつきない。

終戦直後の同窓会では、お互いに知った顔が出会って「おう、お前生きてたのか」というのが、まず最初の挨拶だった。

戦災、疎開、応召、出征と男の人生をふり廻す運命の嵐が荒れ狂ったあとだから、或る友は死に、或る友は生き残った。終戦直後の同窓会では、この同窓たちの消息を聞くのが楽しみであり、また恐ろしくもあった。

昭和13年、私は朝日新聞記者として日中戦争に従軍、広東に敵前上陸して戦況を報道したが、

広東郊外の渡河作戦に、戦功を立てた諏訪部隊のことを書いて大きな特ダネとなったことがある。その部隊長を野戦陣地に訪れたとき私はびっくりした。その部隊長が学院同窓生だったのである。

在校中、私は高商部、彼は一年下の社会学部哲学科の学生、しかも私が関西学院新聞部長になったとき、公私両面で私を助けてくれた無二の親友、在学中は井本姓だったが、養子に行ったので苗字が変わっていたのを私が知らなかったのである。初対面だと思って陣中訪問した私は、この祖国を遠く離れた戦地での奇遇の驚きと嬉しさの余り、思わず抱き合って再会を喜んだ。しかし、その彼が戦死したことを知ったのは戦後の同窓会場だった。でも私の臉には今でも広東戦線で逢った彼の陽焼けたヒゲ面の部隊長顔が生きている。

（昭和5年高商卒）



追憶

末吉 健

今般関学同窓会大阪支部創立四十周年記念史発刊にあたり、思い出話をとのご依頼がありました。顧みますと、私は昭和四年二月当時原田の森にあつた学院事務局に、入学志願の手続きをし、移転完了の上ヶ原にて受験、入学した者で五十四年前の卒業生となります。従いまして、年と共に忘れがちな年齢の事とて、述べる話題も或は間違っているかも知れませんがご容赦下さい。

私が支部の同窓会に出席した時代を振り返りますと、今は亡き吉城貫一郎、水谷勢一、澤田

力せられた。同支部長は六月恒例のビアパーティーを開催し、支部の一層の盛り上りを期されたほか同窓会にまだ出席した事のない会員の吸引をも一つの目的として、昭和三十七年十二月十一日今東光氏の講演会を御堂会館で開催した。

この時、食事は会場が御堂会館のため立食式は不可能であるので、弁当を用意する事とした。毎回の例の如く当日出席予定者の実数が掴めないで、弁当の注文数決定に困惑した。若し雨天等で出席者が少なく、弁当が沢山残っても困るし、不足では勿論いけない。種々協議の結果、毎年の総会出席者実数を基として、五百個発注し、不足の場合は若干の追加可能と言う事で契約した。

ところが当日は予想以上の盛会で、遂に七五〇名の盛況となった。裏方は大慌てで、弁当と飲物の追加のため、種々の業者に交渉し、尚不足分は寿司まで注文して補充に努力した。しかし如何せん急場ではどうにも間に合わない。朝長支部長は「私が皆さんに事情を述べて、素直にお詫びする。だがせめて福引だけは名物の空籤ナシを守れ」とのご指示であった。

裏方一同手分けして、景品の補充に充てると共に、全参会者に行き渡るよう景品の袋入れ、配分に大忙しで、どうにか福引は間に合やす事が出来た。この時の蔵本順吉君のサンタクロースは和気霽々大好評であった。又初めて行った歳末助け合い募金も多数のご協力を得て、朝日、毎日両社に寄附し、総会は無事終了した。しかし裏方一同は今和尙の毒舌とウトモアに満ちた名講話をととうと誰も聴く事が出来なかった。不手際のため、参会者に大変ご迷惑をお



支部創立四十周年 総会にあたりて

蔵本 順吉

同窓会大阪支部創立四十周年を今年十二月に迎えることは誠に慶賀の至りでございます。

昭和二十二年と云うと大阪、神戸は焼夷弾で八割方、焼野が原となっており、それでも終戦後一年余が経過していたので、バラックが建っている、食うに食糧が少なく、住むに家なき人々が街頭に溢れていました。現在の若い人々には当時の様相は想像も出来ないほど深刻なものでありました。

大阪駅前には「ヤミ市」と称して焼け残った板ぎれや、ブリキ板で、張りボテになった建物（バラック建）の中に、食料品や衣料品の寄せ集めが雑然と並べられて商いが行われ、其の日の糊口を凌いでいたものでありました。

焼けていない京都で、昭和二十一年に、京都支部が創設されたのが刺激となって、大阪にも支部をつくらうではないかと、会う人毎にささやかれて遂に昭和二十二年に、大阪支部発会の運びとなった訳です。

昭和二十四年頃、山下君（拳闘部）の経営する小さなバーができ、そこを根城に会合したものです。同窓会の行事をするにも、大きな会場が無いので、場所の選定に苦労しました。会場には南区の文楽座の焼け跡や、大成閣（中華料理）、北区の中央公会堂の地下食堂を利用しましたが、同窓生の情熱は実に燃えに燃え、支部結

成は、皆に息を吹き返させた如きものでありました。

初代支部長森田歳一氏を始め古城、水谷、朝長、沢田、藤田諸氏の歴代の支部長が既に亡くなられ、実に思えば感慨無量なるものがあります。終戦当初からお世話をしていた人は菅沼氏と小生くらいのものです。

其後に一つ悲しい思い出があります。水谷支部長の時代に、総会の都度、景品集めに、有力会社を訪問していた副支部長の林文雄氏（明治生命）が賞品を抱えたまま、三休橋筋で倒れ帰らぬ人となった悲報に接したことは忘れ得ぬ出来事でありました。これは母校愛に燃焼し尽した林氏の尊い姿でありました。

昭和三十年代までは河上丈太郎先生を大阪に迎えて、日本の将来について情熱を燃やしたり、神崎先生を全国区の参議院候補に推し、華々しく、関学ここにありとの勢いが、燃えに燃えた時代でありました。それが導火線となり、関学卒業生が政界、財界、サラリーマン社会のリーダーシップを取って、活躍されたものでした。

現今はそうした意味から考えますと、あらゆる面で、低調で、関学勢の元気がいずこかに失せ去ったと歎くのは私一人ではあるまいと思えます。国際性を身につけ、親切でサービスピ精神に富んだ関学よ、元気を出して頑張ろうではないかと声を大にして叫びたい。（昭和10年高商卒）



あのころ、
そのころの思い出

戸田 晋一

昭和五十五年一月より支部長木村正春氏の要

となり、副支部長制を廃止し、常任幹事、幹事を主体として運営され、役員総数も支部長以下三二七名に拡大された。

私も五十二年以来六十二年末で、丁度十年となるのだが、全く「光陰矢の如し」の感が深い。ほんとに先輩、同僚、後輩の諸氏に多大の御迷惑をかけ、改めてお詫びと、お礼を申し上げる次第である。（昭和12年商経学部卒）

最近 思うこと

岩尾 健一

同窓会大阪支部の発足については今はなき天野、沢田先輩と菅沼、蔵本氏の誠に献身的なご努力によるものと思ふ。戦後の復興ままたらぬ当時、名簿も、組織も不充分で、参加人員の予測も出来ない状況での設営であり、経費不足は歴代支部長の自費負担される状態で、大変な苦勞があったと思ふ。

あの母校存亡にかかわる大学紛争の際には毎晩のごとく、同窓生が甲東園の椿荘に集まり、母校と一丸となり学院の将来に対し、協力したことも、大阪支部が影響する処が大きい。

大学第一期生会から荒木支部長、大矢事務局長のキャビネット時代に入り、支部運営規約等組織化を実施され、同窓多数参画の運営が図られたことは発展への大きな転機と思ふ。関西学院は伝統あるユニークな私学である。そこに学んだ同窓生には母校に対して共通の心を持っている。

大学昇格、上ヶ原移転、大学紛争、その時々

請をつけ、支部の事務局を担当して八年間、木村支部長が昭和六十年五月一日付にて同窓会長に就任、支部長代理梶房次氏がその代行を引受けられ（翌年支部長に就任）引続き事務局を担当し現在に至っている。

前支部長荒木秀雄、支部長代理岩尾健一、事務長大矢六郎の三氏等が支部運営を確立された後をうけ、はじめは五里霧中の運営だったが、大矢氏が監事として引続き残留され、懇切な指導を頂いたので、諸賢に御満足がゆかぬまでも、どうやら長期間に亘りお世話をさせて頂き、ここに支部創立四十周年記念を迎え、誠に幸運に恵まれたことだと感謝している。

毎年恒例の十二月初旬に開催される支部総会は木村支部長が「総会場を満杯にする」方針をつらぬき、回を重ねるたびに盛会を極め、新阪急ホテルの大広間に毎年七百名以上が参集し、立すいの余地なきまでに至ることが出来た。これは支部長はじめ各役員がマスター・ホアサー・ビス精神を最高度に発揚して下さった賜の成果にほかならないと確信する。

昭和六十一年三月頃、顧問菅沼安人氏から昭和六十二年は支部創立四十周年に当たるとの連絡をうけ、この四十年を節に、記念史を編纂しようとして役員会で承認された。幸い上田一雄氏が編纂委員長を引受けて頂き、関係者の応援を得て、各支部に先駆けて、ここに四十周年史の発行の誕生をみる事が出来た。これは支部の発展と相俟って同窓会の発展に大きく貢献するものだと思う。

本支部が八年間に蓄積した基金をこの四十周年記念に転用し、年史の発行や懇親会を盛大に

日の関西学院に至ったことを想うにつけ、現在、学内の意志統一を欠いた母校の現状に対して、誠に憂慮してやまない。

（昭和12年商経学部卒）



大阪支部の
創立四十周年を
迎えて

荒木 秀雄

関西学院同窓会大阪支部創立四十周年、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

戦後のきびしい状況の中から、いろいろの苦難を乗り越えて、今日の隆盛、いや今日の大阪支部をつくり上げられた諸先輩の御努力に対し、心から敬意を表すると共に、御礼を申し上げます。其の間、何の御手伝いも出来なかったことを恥ずかしく思います。

母校の創立百年も二年後とか。学院当局、同窓会が本当に一丸となって、厳肅な、そして華やかないろいろの行事を企画し、母校、関西学院の偉容を天下に示していただきたく御願いたします。

ふりかえってみますと、昭和七年四月、甲山の麓の日本一美しい緑につつまれた学院の門をくぐってから五十五年になります。母校の美しさはいきさかも変わっていません。私にはいつまでも懐しい心の故郷です。私達はこのノープルな緑につつまれた白亜の美しい城を、学校当局と同窓会とがお互いに協力して、守って欲しいと思っています。（昭和12年商経学部卒）

開催し、同窓会本部に一部を記念寄付出来ることは、ひとえに支部役員諸賢の日頃のなみなみならぬ献身的な努力の賜にほかならない。

（昭和11年高商卒）



大阪支部に
関係した頃の
思い出

大矢 六郎

昭和五十二年十二月初旬に大阪支部の総会が開かれ、その席で、次期大阪支部長には荒木秀雄君が就任されることになった。

その年の末、荒木君の要請で、支部長代理に岩尾健一君、副支部長兼事務長に私が決まったので、連日今後大阪支部の運営について話し合われた。

その結果、組織づくりに力を入れることになり、副支部長四名、常任幹事及び幹事制にして、大阪支部の役員総数を一三〇乃至一五〇名程度にすることで意見一致をみた。

このようにして体制は固まり、運営については支部長、副支部長会議を再三開き、討論しつつ支部発展のため努力したのである。その間荒木、岩尾両君の適切な御指導と、先輩、大学第一期生会の諸兄並びに常任幹事、幹事諸氏の御後援、御協力を得て、曲りなりにも五十三、四年の二年間を無事務めることが出来たのは幸いであつた。

五十五年から支部長は木村正春氏に交代となったが私は監事として残ることとなり、さらに六十一年に支部長は梶房次氏に交代、私は支部長代理として、大阪支部の運営に関与し今日に至っている。その間大阪支部の組織も一部変更



大阪支部長時代
の思い出

木村 正春

関西学院同窓会大阪支部四十年の長い歴史の一コマを担当させて頂いたものとして、この度の創立四十周年を迎えられたことは誠に慶賀に堪えません。心からお喜び申し上げます。

ある時大矢六郎さんが「木村はん、荒木大阪支部長の作った組織は大変良いと思うんやが、こんどの大阪支部の新組織にこれ使ってみたらどうや」と進言された。荒木さんの勇退で、次期支部長の内命を受けていた時だけに、据え膳食わねばということで、そのまま難く頂戴することにしました。

今に残る組織図は荒木前支部長当時のもので誠に有難いことでした。組織がいくら良くても、そこに人を得なければ発展はないと言われます。幹部の方々には同窓会や支部活動に、情熱と理解と、そして深い関心をもって頂いている方々のご協力をいただきました。

とりわけ副総経理格というべき副支部長に心友梶房次さんにどんと腰を据えて頂いたこと、大蔵大臣の財務担当には大矢六郎さん、戸田晋一さんには幹事長相当の事務局長と、それぞれご就任頂いたことで、新しい大阪支部の心柱が決まりました。幹部の皆さん方にはみな献身的なご協力を賜りましたので、運営には大きな自信をもつことが出来ました。三年半大過なく過ぎせたのも皆さんのご協力の賜で、感謝しております。

同窓会大阪支部の総会を祝って、沢山の同窓

が新阪急ホテルに詰めかけて頂いた時は実に嬉しかった。大矢さんはホテルが同窓で一杯になれば、おんの字やでと言ってくれましたが当時の深い私は大阪だけでも三万人の同窓生が居るやないか、その半分集めて器が小さきりやもつと大きい会場捜せばよいやないかなど強気の発言をしました。結局は実現せず終りました。

大阪近郊のある同窓会支部の総会に出席しました。約百名近い参加で、大変賑わっていました。ある同窓がこの地域には沢山の同窓がいるが総会に出席するのはその約三分の一程度で、あとはあまり同窓会に関心の薄い人が多いように思われますと言われました。私はかねがね、同窓会に関心のない同窓の発掘が大変重要な作業の一つだと考えています。その言葉でガックリも致しましたが、さらに発奮の材料ともなりました。二年後に迫る母校百周年は勿論、あと十年、三十年先を考え、早急な対策を考えたいものです。

(昭和13年法文学部卒)



支部長のころ

山田 重迪

私は、第十三代の大阪支部長として、昭和四十九年十二月より昭和五十年十一月まで、二年間勤めさせていただきました。

私の前の第十二代支部長で故藤田彌一郎先輩は大変立派な人格者で、私は藤田先輩の支部長の時、その下で色々な点で教えられる事が多々ありました。藤田先輩は実に清廉な人であり、信頼して何でも相談出来るよい先輩であり、私の最も尊敬する先輩の一人でありました。

私はこの立派な先輩の指導教育を受けた故藤田支部長の下で、二年間支部の用務を勤めさせてもらったことを今でも大いに誇りと思い、懐しく思い出しております。

私自身はこの良き大先輩の藤田さんの器ではありませんが、支部長を命ぜられ藤田先輩のご指導、ご教示のもとで、何とか二ヶ年間支部長をさせていただきました。

また副支部長に藤田先輩を通じて、蔵本先輩になっていただき、ほとんど蔵本先輩におんぶしてもらって支部の運営をしてもらいました。故藤田先輩と蔵本先輩には本当にお世話になりました。ここに改めて厚く感謝の意を表したいと思います。

(昭和13年商経学部卒)



野田支部長時代に 寄せて(51年・52年)

江南 春夫

山田重迪前支部長の後任として、野田豊太郎氏が十四代支部長に就任、副支部長五名、幹事一二〇名が推薦され、新事務局が大洋楼に設置された。野田支部長の新発足最初の企画として、五十一年夏八月二十日に堂島サントリービル屋上で、約四〇〇名参加して、ビアパーティーを開催した。野田支部長急病のため、松崎副支部長に司会をお願いし、久山院長、澤田同窓会会長の挨拶があつて、急逝された前藤田支部長に黙禱を捧げた。

杯を重ねるにつれて、会場は超満員、準備した料理も不足、嬉しい悲鳴をあげた。ステージでは学院軽音の演奏、新月会有志の美しいハーモニオンを最後に、お楽しみ抽籤会があり、菅沼

先輩の音頭で校歌を合唱、九時散会した。

五十一年十二月十七日に恒例の総会を新阪急ホテルで開催した。上野正雄氏の司会で、野田支部長、澤田会長、久山院長、久保学長の挨拶があつて食前の感謝を千里山教会森牧師(34年神卒)がした後、天野名誉会長の乾杯の音頭で開宴した。ヤマハ軽音楽の演奏、学院文化部の美しい女性による運勢判断コーナーが会場の一部に設けられ好評を博した。

会が進行するにつれて、同窓有志より寄贈された豪華な品々が当たる福引が蔵本副支部長の演出にて各会員に手渡された。最後に応援団による校歌合唱があり、八時過ぎ閉会した。

五十二年度は野田支部長病氣のため厚生年金病院に入院され、支部長を辞退されたので、急きょ支部長代行を蔵本副支部長にお願いした。五十二年十二月八日の新阪急ホテルで開かれた総会もお蔭をもつて無事終了、大役を果す事が出来、次期支部長には、荒木秀雄先輩にお願いした。

任期中、野田支部長が五十二年五月昇天されたため、会員の皆様にご迷惑をかけました。蔵本支部長代行を始め、学院関係はもちろん副支部長、同窓諸先輩のご尽力により、大役を果す事が出来、感謝いたしております。今後益々の発展をお祈りいたしております。(昭和13年旧中卒)



最近思うこと

阪田 一夫

自分が卒業した年度が昭和十六年やったか、十四年やったかと迷った末、同級の谷君に電話

でたずねたら、彼もそない云うたらどっちゃったかいなあと、タヨリない話。指をくりつつ算用したところで、やっぱり十六年やなあと云うことになりました。(本当は昭和十四年卒)

七十になっても、バリっとした同級生も多いのに、何をウロウロしとるのかと、ヨメはんどやされたりしながら、年齢をグチったりしてもしやあない、何とか復旧出来んもんかと、いろいろ思案をしております。一番つらいのは何と云うても、二年上の女房がボケもせんと、ポンポン云いよるのは何ともなりません。悲しいことではあります。

年を経て到着した駅は骨ガン駅でした。それでもお蔭様で、約一年かかって一応安全な線に乗換えることが出来ました。有難いと感謝しております。祖母、母、父と三代目のキリスト教信者であります。本当に信仰らしい心境に達することが出来ましたのは十年前に前立腺ガンが見つかった時でした。そこで何となく、信仰らしい心境に達しかけた。私は決して人に自慢出来るような人間ではありません。今後心を持ちなおして、他人に自慢出来るような人間には中々なれません。それに近づきたいと念願しておる現状です。諸兄の手引きを願っております。

(昭和14年商経学部卒)



つきぬ思い出

岩佐 道雄

澤田支部長の許、常任幹事として竹中一雄、林 文雄、杉本 治、菅沼安人、蔵本順吉、三戸 誠、浜口みづらの諸先輩(平均年齢五十歳、

若かった)とともに情熱を傾け、支部の発展に努力した二年間が走馬灯の如く想起されます。

会員が多数総会に参加することに意義があるものと、会社別の会員名簿を蒐集整理し、約百社六千余人の会員の把握に成功した結果、連絡も円滑となり、支部活動にとって力強い戦力となりました。

盛夏の一日、千日前のピアホルの二階を借り切り、冷房設備のない天井扇の下で、ぎっしりつまつた三百余人の会員が相好を崩し、再会を喜び、歓喜の乾杯をしていたほほえましい姿が目に浮んできます。

心斎橋の大東楼での総会には日本間に四百人を予定したのに、来る来るわ六百人を超す始末で、百余人的方々に陳謝、御帰還願った嬉しい悲鳴も味わいました。

資金皆無で出資した会計も、例会、総会での会員諸兄の盛大なる支援を受け、貳拾数万円の資金を朝長支部長に申し送り得ました。

また総会の校歌に次いで、讃美歌「四〇五」また会う日まで」の斉唱を提唱し、以後本部、支部で、広く歌われたことも嬉しい思い出です。

最後に共に励み、語り合った今は亡き沢田、竹中、林、杉本、三戸、浜口の諸先輩の霊に感謝を捧げ、御冥福をお祈りし筆を擱きます。

(昭和14年商経学部卒)



大阪支部と 南関学会

白井 修三

関西学院同窓会大阪支部が本年創立四十年を

迎えられ、奇しくも「大阪南関学会」も創立二十一年を迎えることになりました。丁度二対一と云うことになりました。

終戦後二十余年、当時誠に迂闊なことながら私は同窓会の存在は知っていたが支部の存在は知りませんでした。私の地元心斎橋筋商店街には大勢の関学同窓の方々居られるにも拘らず、互いに挨拶一つしないようでは何か淋しい、これではいけない……ここらで一ツ親睦の会でも出来れば……と当時、当社のテナントであったオーケストラ部の先輩故泉康義氏(初代会長)と相談「心斎橋関学会」の準備にかかりました。

ところが戎橋筋商店街の同窓がこれを聞きつけて、戎橋も一緒に……と云うことになり「大阪南関学会」と云うことに発展、昭和四十二年一月十八日創立総会、十月二十七日同窓会長故天野利三郎氏をお迎えして第一回総会を、翌四十二年五月、原清大阪支部長、小原完三同窓会専務理事をお迎えし、その後毎回、歴代の同窓会長、大阪支部長等の御来臨をいただき今日に至りました。

その間私も南関学会を代表して支部の役員となり、会員も約九十名の大所帯となりました。出席率は常に八十パーセントと云う実にユニークな会、大阪支部のさらに下部組織として、今後大いに関西学院発展のために貢献したいと幹事一同張切っている次第です。(昭和19年政経卒)



原 清支部長時代の の思い出

坪田 通幹

朝日放送の原 清会長(当時専務)が関西学

院同窓会大阪支部の第十代支部長に就任されたのは、昭和四十二年十二月のことであった。このとき大阪支部の事務局が同社秘書室におかれ、当時秘書室長であった私のほか、社内同窓数名の協力で、二年間の支部活動に参加した。既に二十年昔のことになる。

原支部長はこの任期中に「できるだけ多くの同窓へ輪を広げよう」ということから当時完備されていなかった大阪支部名簿を作ることになった。まず同窓会本部の協力により各界でご活躍の同窓から企業を単位に、幹事を選出し、各会社内同窓へその輪を広げてゆくことにした。結果九十二名の幹事が決まり、昭和四十三年十一月名簿第一稿ができ、関係者に送った。引き続き、追加修正のうえ、翌四十四年十一月に完成した。

その間、自然に各同窓と事務局のコミュニケーションが進み、支部同窓会の出席も増え、会員相互の親しみも深まり、大きく輪が広がったことは事実である。その他、昭和四十四年一月から期末試験、入学試験を目標にした大学紛争も院内学部校舎封鎖へ発展し、これら学院内紛争に、同窓会として配慮した陣中見舞も忘れられない事実であった。

任期中の原支部長をとり巻く社内の業務も多忙で、昭和四十三年には朝日放送副社長就任、さらに同四十五年の万国博を目指したホテルの建設、また同博参加の国際企画推進のため、重なる海外往来、来客など、とにかく忙しい中に、いろいろの同窓会活動を進められ、昭和四十四年十二月無事大阪支部長の任期を終えられた。朝日放送が建設し、同年十月開業早々のホテル

プラザで、当時の原副社長から阪田商会の阪田一夫社長へ支部長のバトンタッチをされたことも記念に残る思い出の一つであった。

(昭和22年商経学部卒)



女子会員の増やそう

牧村 淳子

戦後間もなく設立されました関学同窓会大阪支部が四十周年を迎えられ、本当におめでとうございます。

私は、女子会員として二十余年、女子会員の参加を呼びかけてきましたが、その努力がなかなか、実らない時期が長くあったと思います。しかし最近やっと、若い年齢層にその数が増えました。

昭和五十九年二月に、社会学部事務長石田佐兵衛氏に、女子幹事推薦のお願いをしましたところ、早速に七名の女子同窓をご紹介いただきました。連絡をとった結果三名の方にご同意を得ました。しかし現在まで続けてご協力下さっているのはお一人だけです。しかし貴重なのは石井氏のご推薦下さったことがきっかけとなつて、その輪が広がり、現在大阪支部女子幹事は十八名という数をかぞえることが出来たことです。また、このメンバーが中心となり、大阪女子部が出来ました。

毎年未行われる大阪支部総会に、女子会員の多数参加を呼びかけるのをその目的としていますが、会食をしながら、社会的、家庭的な諸問題についての話し合いの場としても活用されています。何よりうれしいのは会員相互の努力に

より、メンバーが増えて三十四名の名簿も簡単なものながら出来ました。

この会員が大阪支部にとって、組織作りの大きな力となることは間違いありません。天の半分は女性が支えているといえます。女子会員の参加のもと、将来にむけ益々の発展を願ってやみません。本当に会の運営は皆さんのご協力あつてのこと、魅力ある楽しいものに出来たらと思っています。

(昭和27年短文学卒)



大阪支部の思い出

梶谷 道夫

大阪支部での皆様との交りは中学部、予科、大学時代の恩師、友人との温いふれ合いの体験を社会人である私に復活していただいたように思っています。

卒業後は社会人として、学院での原体験が何処まで通用するかが日常の課題であったように思います。人と会って話をするのが仕事であった私は人間関係がどんどん広がる中で、たまに学院の同窓やその関係者の方々と付き合える機会にも恵まれました。そしてそれ等の方々に共通の何かを感じることが重なったように思います。

そんなことから昭和四十四年、職場に近い梅田周辺の学院OBの経営者の方々に、昼食会を持つていただけないかをはかってみました。幸いにして、二十名近い方々のご賛同が得られ、その上ホテル阪神の山田先輩のご好意もあつて、毎月一回ホテルの食堂の一隅で、昼食会を始めました。「新月会」と呼んで、自由に集って、自

〈発行〉昭和六十二年十二月三日

大阪支部創立四十年記念史編集委員

顧問 菅沼安人 田中康男
委員長 上田一雄
委員 白井修三 勝田守永

編集後記

大阪支部40年史が出来上りました。「年史」とか「歩み」とかの名のつくものは歴史ですから正確なものではないかもしれませんが。そのため年史とか社史を作る時には会社などでは社史編纂室を設け、専任者を決めて資料を集め、正確を期しています。

大阪支部40年史でも正確を期するために、出来る限り資料を集めました。何分終戦直後にスタートした支部であるのと、お世話する支部長や事務局が二年交代で転々と変わってしまったのと、編集時間が短かったので、満足の行く資料、特に写真が集まりませんでした。

資料集めについては同窓会本部をはじめ、菅沼蔵本先輩にはいろいろお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

40年史を出したからには十年後には50年史を出さねばなりません。その時には誰かが諸先輩の協力を得て、この40年史の不備や間違いを補ってくれるものと期待しています。

この40年史の出版に際しましては京都高速印刷株式会社大阪支社の藤原良生君(昭和34年法卒)に大変お世話になりました。末筆ながらお礼申し上げます。

編集委員長 上田一雄



橘 眞琴支部長時代のころ

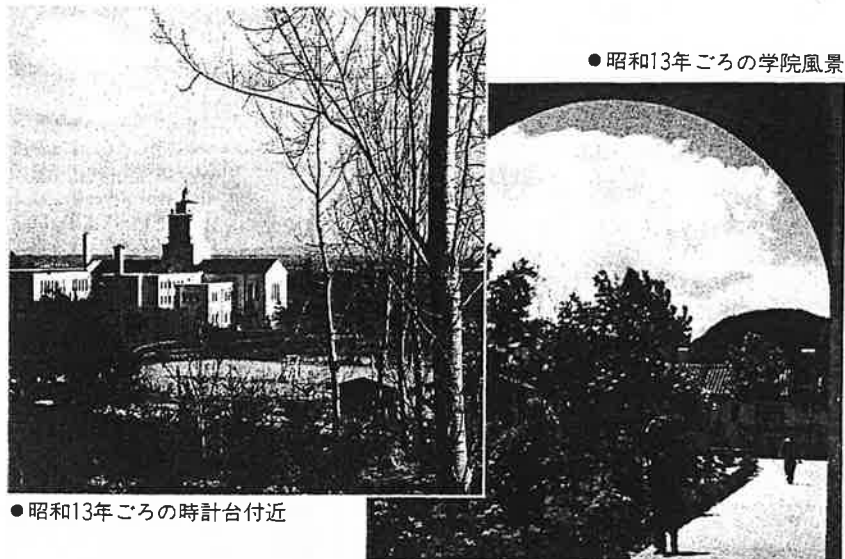
永井 敬造

関西学院同窓会大阪支部第八代目の支部長橘眞琴氏(当時南海電気鉄道株式会社常任監査役株式会社南海ホークス社長、現在株式会社南海ホークス取締役)から支部事務局を依頼されたのは昭和三十九年暮れの事と記憶する。

明けて昭和四十年の初め、大学入試の受付が始まると、同窓父兄が支部長推薦を受けるため、何処から誰に聞くともなく、南海電鉄に集って来た。このような制度が何時頃からあったのか、どの程度、学院側が考慮してくれたのか知らないが、同点数の場合は優先して入学させて貰えたのではないかと。

父兄の卒業年度、子弟の受験番号等を整理し、幹事会に諮り、同窓会本部に届ける。支部長が再度にわたり、学院各学部長にお願いする。各学部が合格者を発表する前日の夕方、同窓会本

●昭和13年ごろの学院風景



●昭和13年ごろの時計台付近

祝 関西学院同窓会大阪支部創立40周年

支部長
西村彦次

O S A K A - U M E D A

絵画

グランドギャラリー

版画

牧村 淳子

(S27年・短英)

大阪市北区梅田1丁目1番3-200

大阪駅前第3ビル2階 エレベーター前

TEL (06)346-0332

祝 関西学院同窓会大阪支部創立40周年

■ミノルタカメラ(株)

協力工場

金星工業株式会社

■畠 房次

(昭和10年高商卒・相撲部OB)

■大阪市東成区東今里町三丁目9-17

TEL 06(974)7700代表

■工場 兵庫県多紀郡篠山町

TEL 07955(6)2761

Mandom - that aura of smartness



高品位の泡、だ。



Hi-Func. GATSBY

株式会社マンドム



ヘアスタイリングフォーム 各150g ¥1,000
トラベルサイズ(ハード・ソフト) 各65g ¥450



デザート喫茶	仏蘭西屋	東京・銀座3丁目松屋東入口前	☎ (564) 0462
デザート喫茶	ぶどうの木	大阪・梅田地下街泉の広場	☎ (361) 4525
デザート喫茶	ぶどうの木	大阪・なんば南街劇場裏通り	☎ (633) 5360
喫茶館	英国屋	大阪・梅田大阪ターミナルビル16F	☎ (344) 8780
喫茶館	英国屋	大阪・なんば南街劇場裏通り	☎ (643) 4894
喫茶館	英国屋	大阪・心斎橋ヨーロッパ通り	☎ (211) 7031
喫茶館	英国屋	大阪・梅田地下街泉の広場	☎ (312) 9873
喫茶館	英国屋	大阪・阪急グランドビル30F	☎ (315) 9213
喫茶館	英国屋	大阪・なんばCITY B1F	☎ (644) 2609
喫茶館	英国屋	大阪・京阪京橋駅西出口前	☎ (354) 3802
喫茶館	舶来屋	大阪・心斎橋ヨーロッパ通り	☎ (213) 9008
喫茶館	舶来屋	大阪・ミナミ地下街虹のまち	☎ (211) 9624
珈琲専門店	薔薇屋	大阪・心斎橋そごう北の辻東入	☎ (241) 9234
珈琲専門店	薔薇屋	大阪・京橋京阪モール高架街	☎ (353) 3665
紅茶専門店	巴里園	大阪・心斎橋大丸そごう間東入	☎ (241) 9205
喫茶館	エビアン	大阪・心斎橋大丸南館7F	☎ (241) 9322
ジョーヒップ	ビッグワン	大阪・心斎橋大丸そごう間東入	☎ (244) 9882
ジョーヒップ	ビッグワン	大阪・梅田地下街泉の広場	☎ (312) 1129
喫茶館	葡萄屋	神戸・三宮センター街3丁目	☎ (391) 9006
喫茶館	英国屋	神戸・三宮そごう南へ下る	☎ (251) 4562
喫茶館	仏蘭西屋	神戸・三宮市役所花時計前	☎ (232) 4643
デザート喫茶	ぶどうの木	神戸・三宮市役所前	☎ (251) 3231

三和実業株式会社

代表取締役 松本 孝 (S31年経済学部卒)

本社 大阪市南区難波3丁目7番10号 電話633-1580(代)



SHARP

10年の成果。 パーソナルワープロの新しい到達点です。

いかに滑らかに書けるか…
かなから漢字への変換効率こそ、ワープロの生命です。
日本語ワープロをいち早く開発したシャープは、
新しい“知能”AI辞書でお応えします。



●マイクローブディスクOM-0355 (別売) 1,750円
●ハントスキャナWD-01HS (別売) 29,800円
(使用時はコードで本体と接続します。)

気象学、起床時間、希少価値…同じ読みの漢字を正しく書き分ける初めてのAI辞書

人間の知能に一步近づいた、辞書(約4万例)機能です。文章の前後関係や言葉の意味に合わせて、正しい漢字を自動的に選び出します。

45字×13行が一覧できる
大きくなった液晶画面

文章も、レイアウトも手に取るようにわかる余裕の画面です。また、B4文書をつくる時は、60字×15行^{*}の縮小表示にも切換えられます。(※ガイダンスディスプレイ)

絵や写真も鮮明に読み込める
ハントスキャナ接続可能(別売)

最大横64ミリ×縦120ミリの絵や写真が、中間調まで鮮やかに読み込めます。さらに、入力したイメージ情報を編集・加工することもできます。

書院の歴史は
ワープロの歴史です。



●AI辞書、約10万語辞書により、さらに変換効率を高めた新・通文変換●成語処理、売上報告に…表計算ソフト(書院カルク、グラフ作成機能●複雑な表組みもスムーズ、●ブロック編集●家でつづいた文章を会社で編集・印字…ビジネスワープロとも互換性をもった3.5インチFDD(フロッピーディスク)●24×24ドットの明朝体、ゴシック体(※別売)



シャープ日本語ワードプロセッサ WD-260F(旧JIS配列準拠)/WD-261F(新JIS配列準拠)/WD-265(50音配列)

標準価格138,000円

※本体の表示は、ハメコミ合成。実際の表示とは若干異なります。

シャープ株式会社

●お問い合わせ・資料請求は：コンシューマーセンター 西日本OA相談室 〒545 大阪市阿倍野区長池町22番22号 電話(06)621-1221(大代表) 東日本OA相談室 〒162 東京都新宿区西谷八幡町8番地 電話(03)260-1161(大代表)

祝 関西学院同窓会大阪支部創立40周年



美容と健康に太陽の恵み…

世界のフルーツ専門店

WORLD FRUIT KIMURA



阪急百貨店

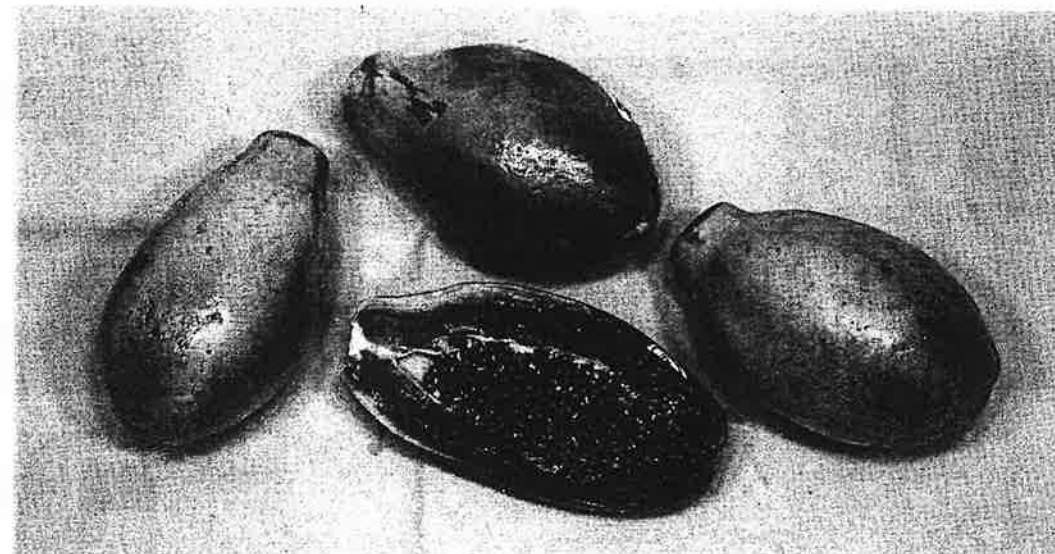
大阪・京都・神戸・東京

新阪急八番街

大阪 梅田・花がーばい

阪急三番街

大阪 梅田・滝のあるまち



株式会社 木村商店

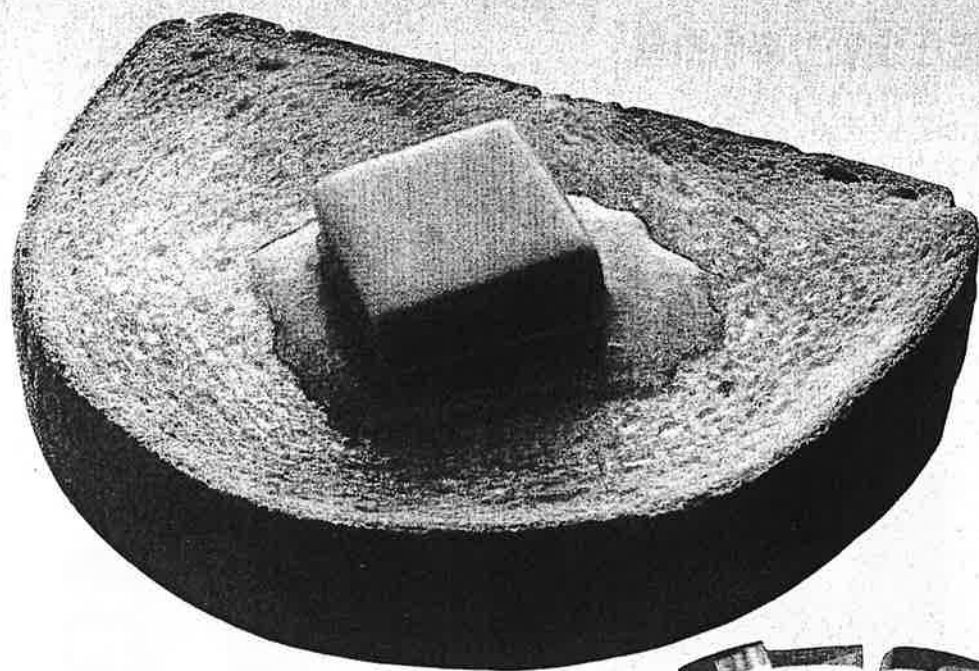
〒530 大阪市北区中崎西3丁目1-13

〈電話〉06-371-7643

代表取締役 木村 正春 (昭和13年法卒)

代表取締役 木村 正紀 (昭和41年法卒)

やわらかく、そしておいしく



神戸屋生まれのかるいおいしさ。
ソフトネは、うすい皮で包まれたとてもやわらかな食パンです。
火通り良く、ミミの部分の区別がないほどソフトに焼きあげていますので、食べやすく、口あたりもなめらか。こんがりソフトなトーストに、手軽なサンドイッチに…。ぜひ、どうぞ。

うすい皮で包まれたソフトな食パン
SOFTNE'

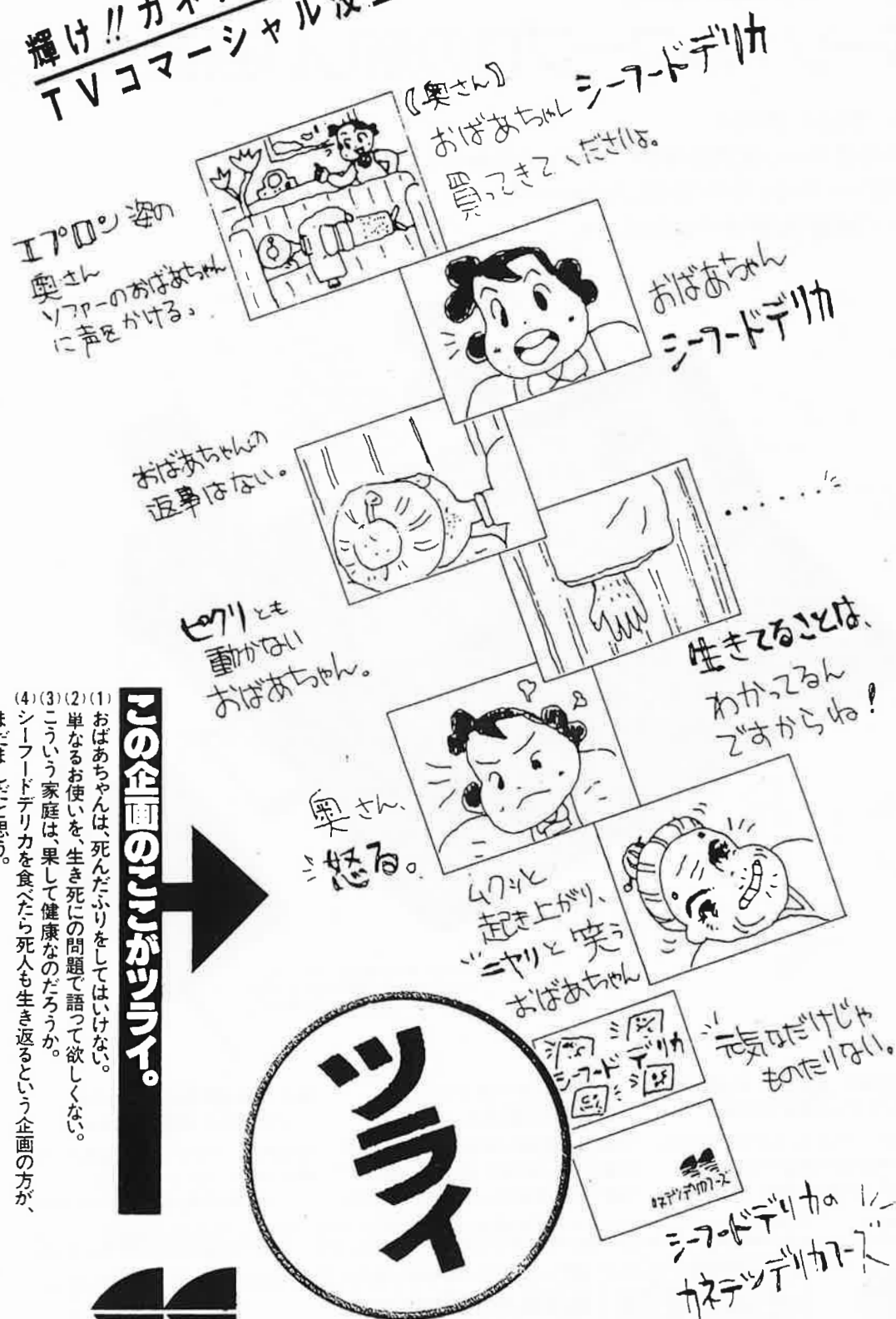
ソフトネ 140円
160円・180円もございます



神戸屋

★毎月12日はパンの日 好きです・パンです・食べてます。
〒533 大阪市東淀川区豊新2丁目16番14号 ☎(06)329-1233

輝け!! カネテツデリカフーズ
TVコマーシャル没企画集 シーフードデリカの巻



- この企画の心がけポイント。
- (1) おばあちゃんは、死んだふりをしてはいけない。
 - (2) 単なるお世話を、生き死にの問題で語って欲しくない。
 - (3) こういう家庭は、果して健康なのだろうか。
 - (4) シーフードデリカを食べたら死人も生き返るという企画の方が、まだましだと思う。
 - (5) 個人的には、好きな企画である。



カネテツデリカフーズ

おいしく伝えるのは、ムズカシイです。



テレビ・ラジオでおなじみ、
程一彦先生の指導による
手づくり料理シリーズです。
新鮮な素材を生かし、ご家庭で
手軽にトッププロの味が楽しめる…
こういったメニュー提案を
コンセプトとし、河内食品株式会社が
開発致しつづけております。

程一彦の 新中国料理研究家 お料理シリーズ

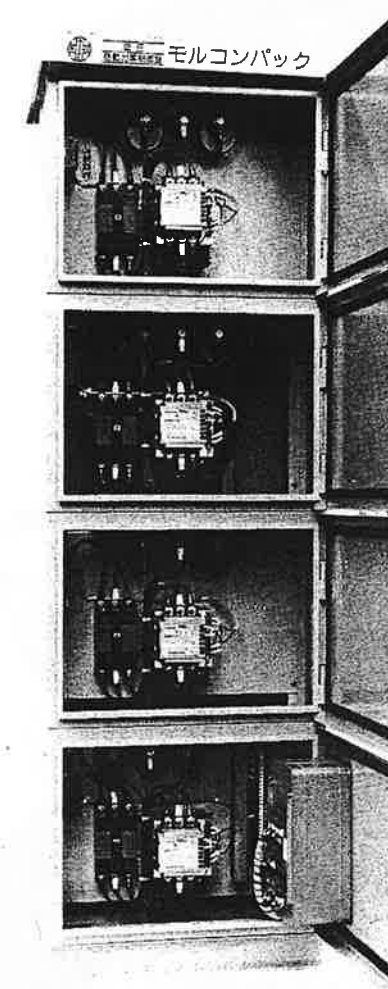


発売元 おいしいものだけあどけする
河内食品株式会社
〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-7-16
TEL: 06-695-3740

有名デパート・大手スーパー食品
売場でお求めください。

配電機器の難燃化に貢献する

低圧自動力率制御盤
モルコンパック

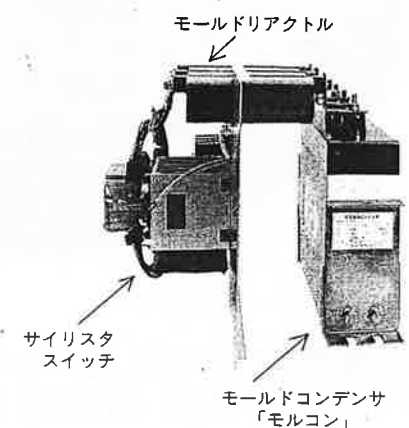


'87電設工業展製品コンクール
(財)関西電気保安協会理事長賞受賞

リショウの

モールドコンデンサ「モルコン」と
新開発のモールドリアクトル

— 直結型!! —



モールドコンデンサ「モルコン」



利昌工業株式会社

取締役社長 利倉 暁一

本社: 〒530 大阪市北区堂島2丁目1番9号 TEL大阪 06(345)8331代
東京: 〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1(丸ビル) TEL東京 03(201)1551代
名古屋: 〒450 名古屋市中村区名駅南1-24-21 TEL名古屋052(582)2971代
営業所: 大井03(788)6122代 福岡092(461)1381代 仙台022(295)8709代
長岡0258(35)3722 宇都宮0286(34)3825代 高崎0273(23)8009代
八王子0426(24)7161代 沼津0559(63)2220 富山0764(31)3479
松本0263(33)4488代 広島082(244)5504代 丸亀0877(24)3326
工場: 尼崎06(429)5645代 滋賀0775(52)3701代 甲府0748(75)1351代

SENGARI

18ホールス・全長6,260メートル・パー72



ある日の大正会、K G S Cの合同プレイ

同窓のみなさんへ〈同窓会費納入済証をフロントでご提示下さい〉

特典：平日（火曜から金曜までに限り、ビジター・フィを
2,000円割引します。大いにご利用下さい。

♂千刈カンツリー倶楽部

三田市山田字大道ヶ平605 電話三田(07956)4-2282

関学食文化研究会

“会員・準会員のご入会をお待ち致して居ります。”

〒530 大阪市北区浪花町13番38号
千代田ビル北館8F 西日本料理学校協会内

関学食文化研究会

TEL (06) 374-0818

会長 島田 栄三

副会長 木村 晃

副会長 助野 雅次郎

生形特許事務所

弁理士

うぶ かた
生形 元重

(昭和14年商経学部卒)

事務所 〒541 大阪市東区瓦町5丁目44番地
備後町天祥ビル7階
電話(06)201-3851(代)
FAX(06)201-3852

昭和62年度 大阪支部創立40周年記念総会 次第

〈日時〉昭和62年12月3日(木) 〈場所〉梅田・新阪急ホテル2F 紫の間

第一部 創立40周年記念式典 (PM6:00～PM6:30)

〈司会班〉程 一彦・佐々木 明・木村 吉次・岩島 直己

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| 1. 開 会 の 辞 | 支 部 長 代 理 戸 田 晋一 |
| 2. 記念式典の祈り | 関学大名誉教授 小寺武四郎 |
| 3. 支 部 長 挨拶 | 支 部 長 畠 房次 |
| 4. 同窓会会長祝辞 | 会 長 木村 正春 |
| 5. 学院代表祝辞 | 学院長・理事長 久山 康 |
| 6. 来 賓 紹 介 | 司 会 程 一彦 |
| 7. 記念寄付金贈呈 | 支 部 長 畠 房次
(木村同窓会長受領) |
| 8. 創立記念品贈呈 | 支 部 長 畠 房次
(顧問、参事、三役、常任幹事、幹事各代表) |
| 9. 校 歌 斉 唱 | 指 揮・司 会 程 一彦
(関西学院大学軽音楽部) |
| | 以 上 |

第二部 創立40周年記念祝賀会 (PM6:30～PM8:30)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 食 前 の 祈 り | 関学大名誉教授 小寺武四郎 |
| 2. 乾 杯 | 来 賓 代 表 |
| 3. 会 食 | |
| 4. アトラクション・福引 | 常 任 幹 事 下村 興安 |
| | 司 会 程 一彦 |
| 5. 閉 会 の 辞 | 支 部 長 代 理 大矢 六郎 |
| 6. 讃 美 歌 斉 唱
(405番) | 指 揮 程 一彦
(関西学院大学軽音楽部) |
| 7. 散 会 | 以 上 |

讃 美 歌 405

- | | |
|--|---|
| 1. かみともにいまして
ゆく道をまもり
あめの御糧もて
ちからをあたえませ。 | 2. 荒野をゆくときも、
あらし吹くときも、
ゆくてをしめして、
たえずみちびきませ。
※繰り返し |
| ※また会う日まで、
また会う日まで、
かみのまもり
汝が身を離れざれ。 | 3. 御門に入る日まで、
いつくしみひろき
みつばさのかげに、
たえずはぐくみませ。
※繰り返し |

関 西 学 院 校歌「空の翼」

北原白秋 詞 山田耕作 曲

- | | |
|--|---|
| 1. 風に思ふ空の翼
輝く自由
Mastery for Service
清明ここに道あり わが丘
関西 関西 関西 関西学院 | 3. 旗は勇む武庫の平野
遙けし理想
Mastery for Service
新月ここにさえたり わが士気
関西 関西 関西 関西学院 |
| 2. 肩にかざす清き甲
萌えたつ緑
Mastery for Service
躍々更に朗らよ わが自治
関西 関西 関西 関西学院 | ポプラははばたく
いざひびけわれら
風、光、力、若きは力ぞ
いざ いざ いざ
上ヶ原ふるえ
いざ いざ いざ
上ヶ原ふるえ |

関 西 学 院 同 窓 会
大阪支部事務局

〒545 大阪市阿倍野区昭和町 3-1-64

T E L (06) 621-0805